

4) バスより便利な交通機関

前述の「他の交通の方が便利だから」との回答における「他の交通」の内訳は、10歳代で「鉄道」、「自転車」が多数を占めるものの、全体的に自家用車が大多数である。

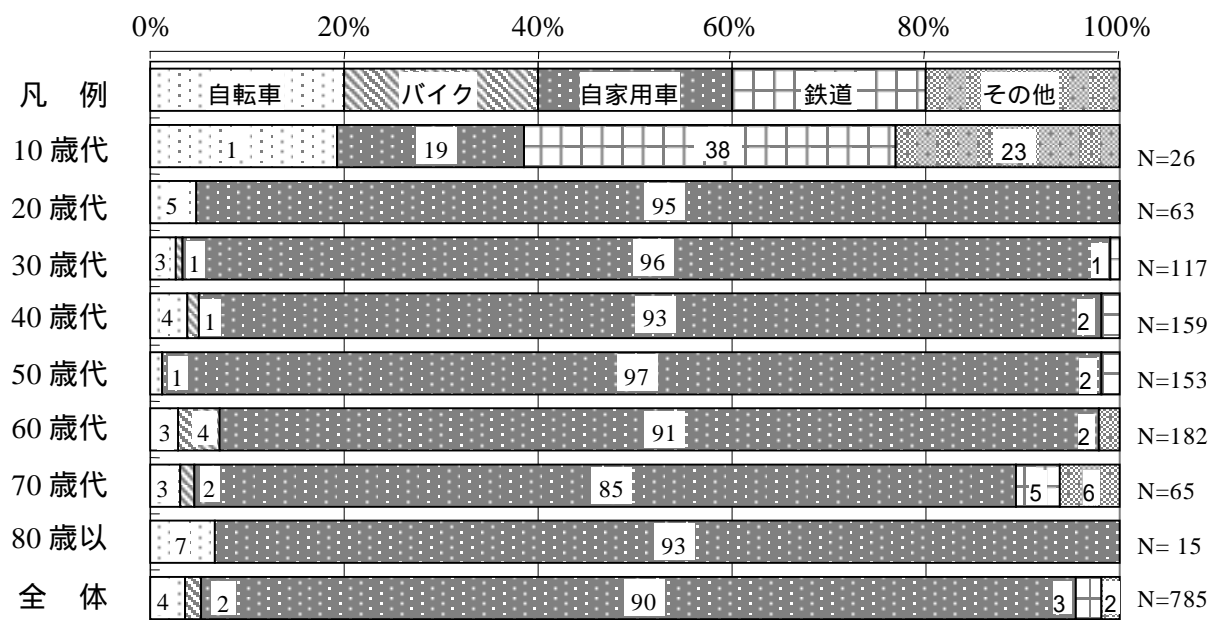


図4-4 バスよりも便利と感じる他交通

上記のように、自家用車が圧倒的に多い結果となったが、ちなみに、アンケート回答者の職業別運転免許保有割合は下図の通りであり、主婦・無職の方々の3割弱が運転免許を保有していないとの結果であった。

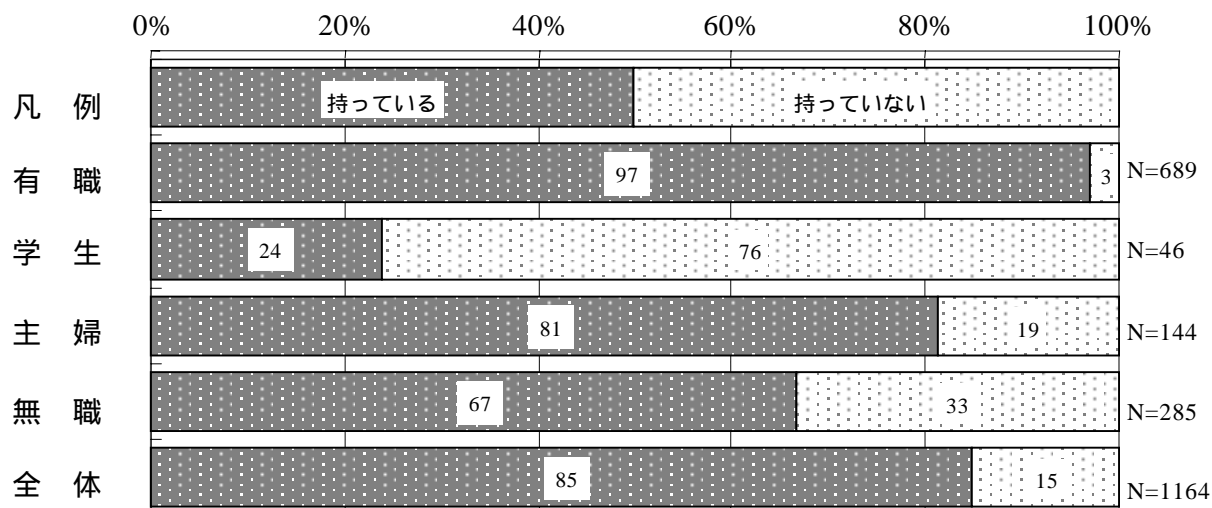


図4-5 職業別運転免許保有状況

また、運転免許保有者の運転可能限界年齢に関する問いの結果は、下図のように男性、女性とも「元気な間」という回答が大多数である。

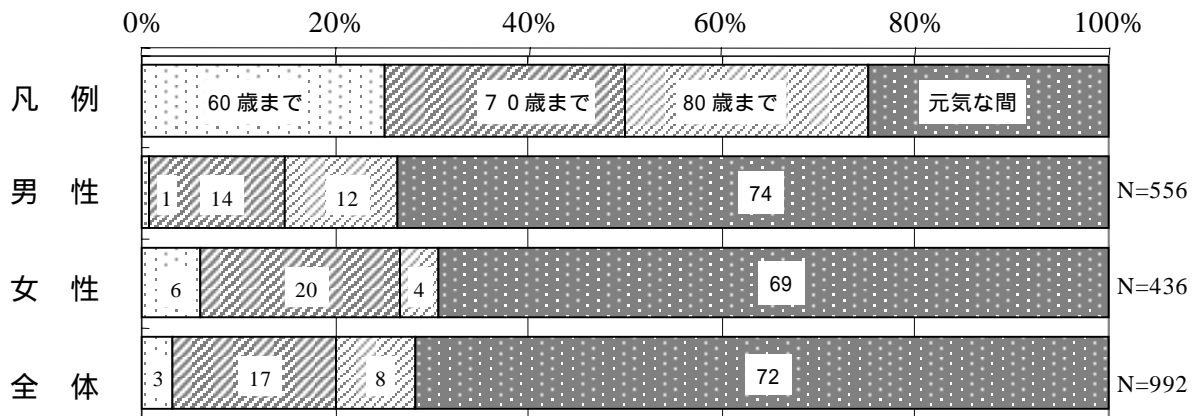
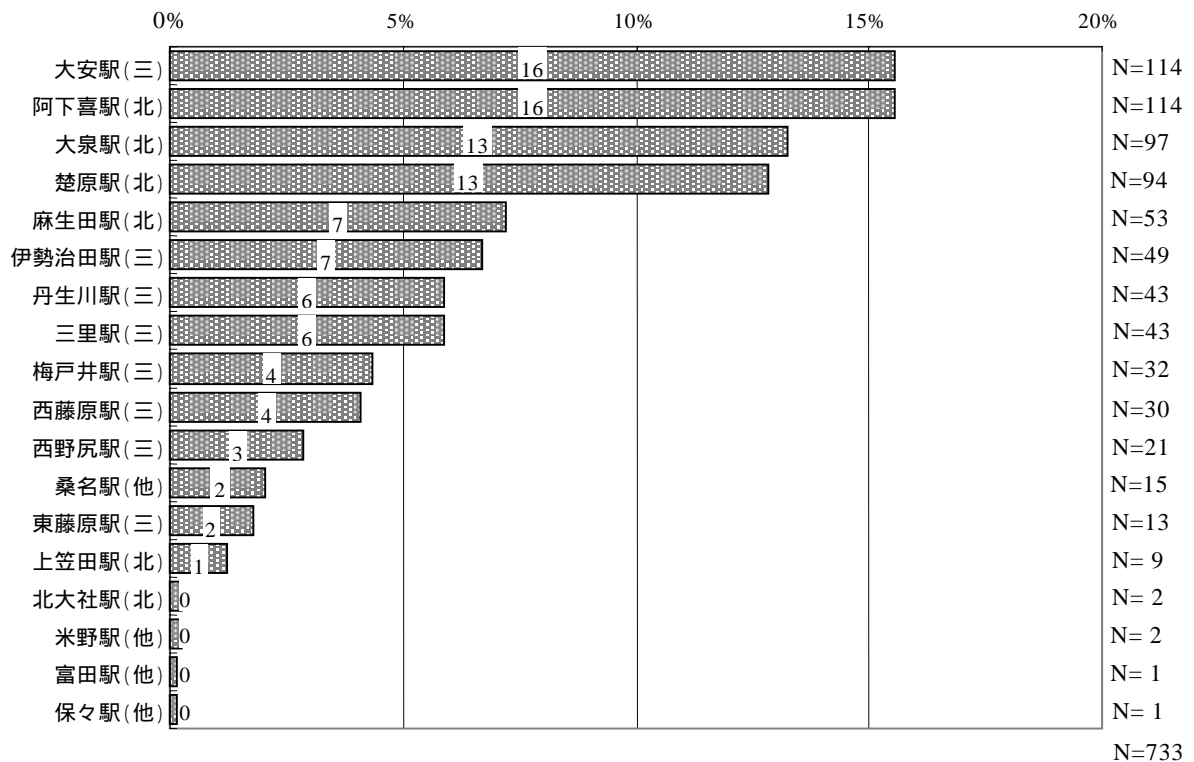


図4 - 6 運転免許保有者の運転限界年齢

5) 調査結果からみる駅・バス停の利用状況

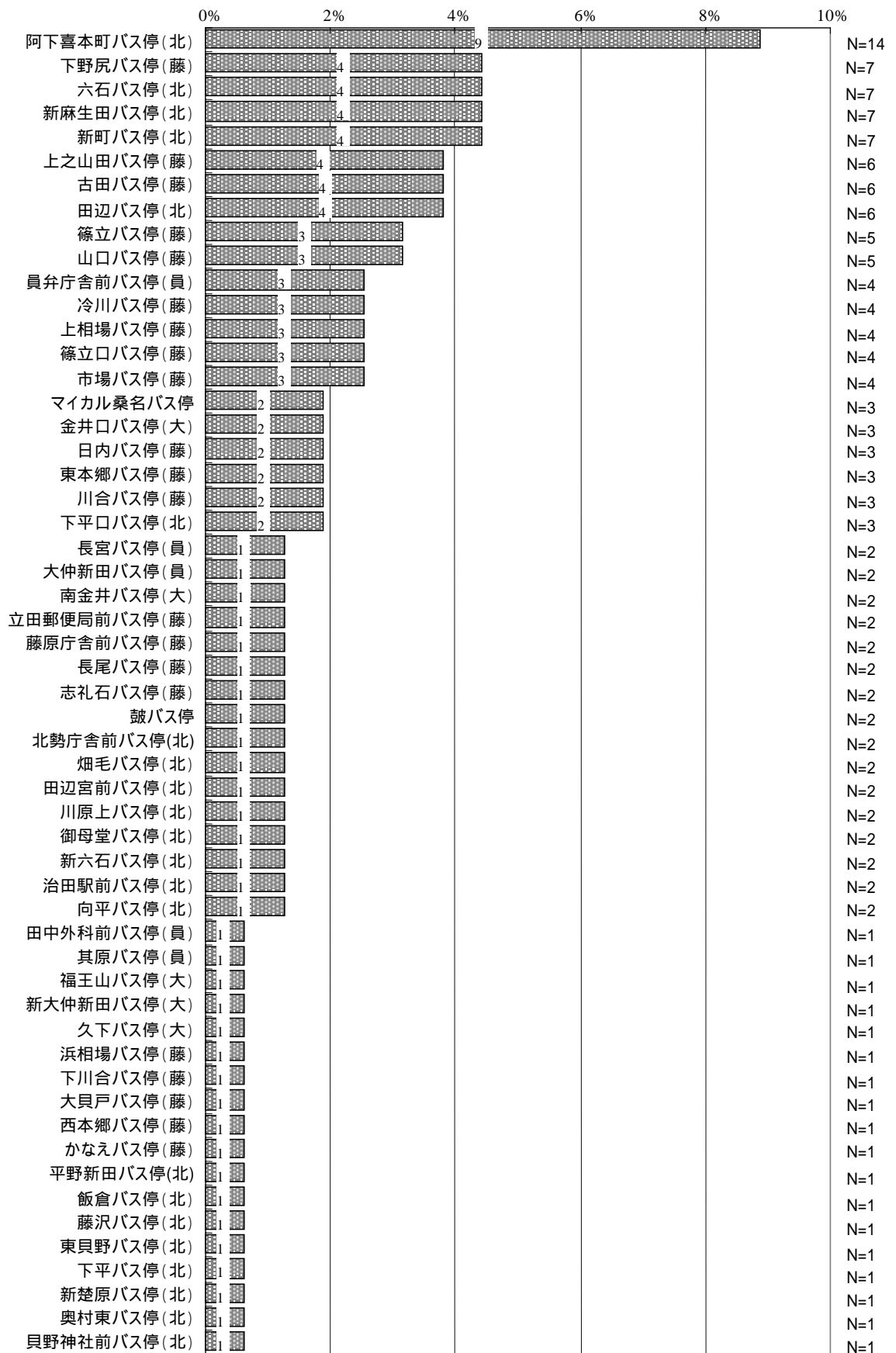
a) よく利用する最寄り駅あるいはバス停

利用されている駅、あるいは駅ではなくバス停留所を経由しているかとの問いに対する集計結果を下図に示す。



注) 駅名末の(三)は三岐線、(北)は北勢線、(他)はその他の路線の駅であることを示す。

図4 - 7 よく利用する駅



N=158

図4 - 8 よく利用するバス停留所

b) 駅およびバス停留所端末距離

駅を直接利用される方の利用する駅までの距離についての集計結果を下図に示す。

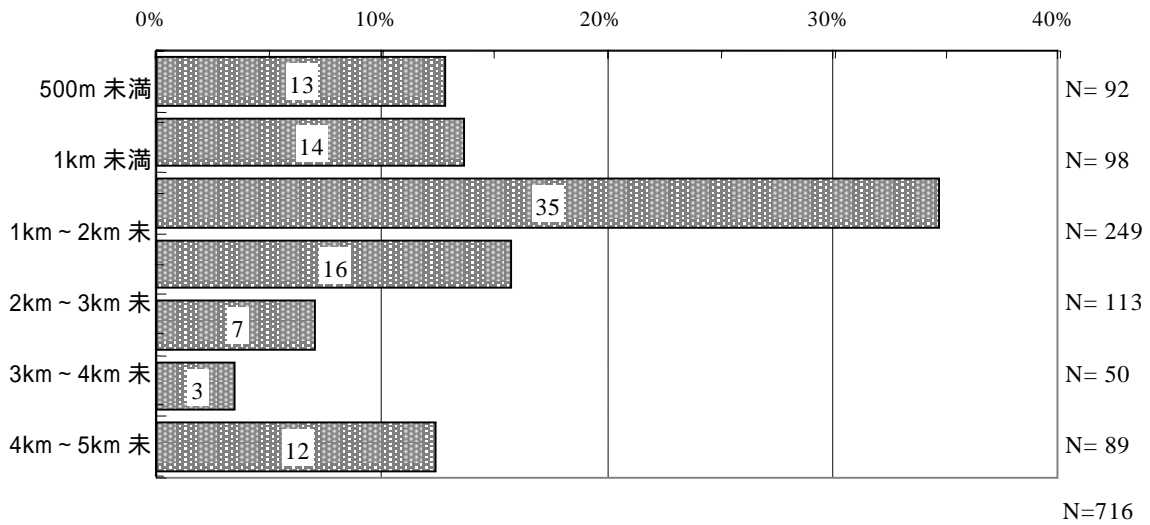


図 4 - 9 よく利用する駅までの距離

バス停留所を利用される方のバス停留所までの距離についての集計結果は下図に示す通りである。

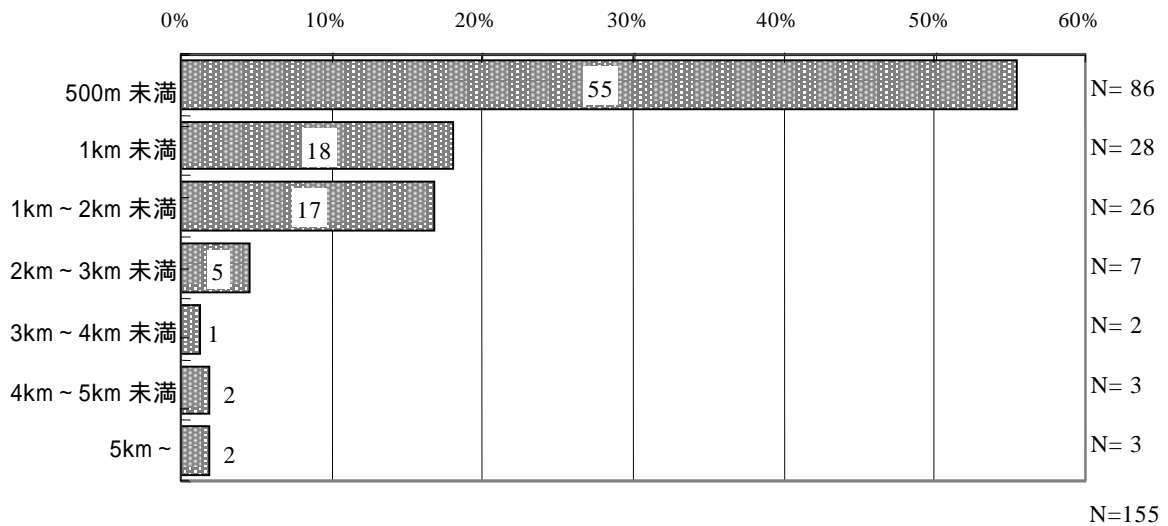


図 4 - 10 よく利用するバス停留所までの距離

(3) バス利用に対する住民意識

1) バス利用に対する積極性

現状のバス運行形態に対する不満が解消された場合、バスを利用するかという問に対する回答を集計した結果を示す。

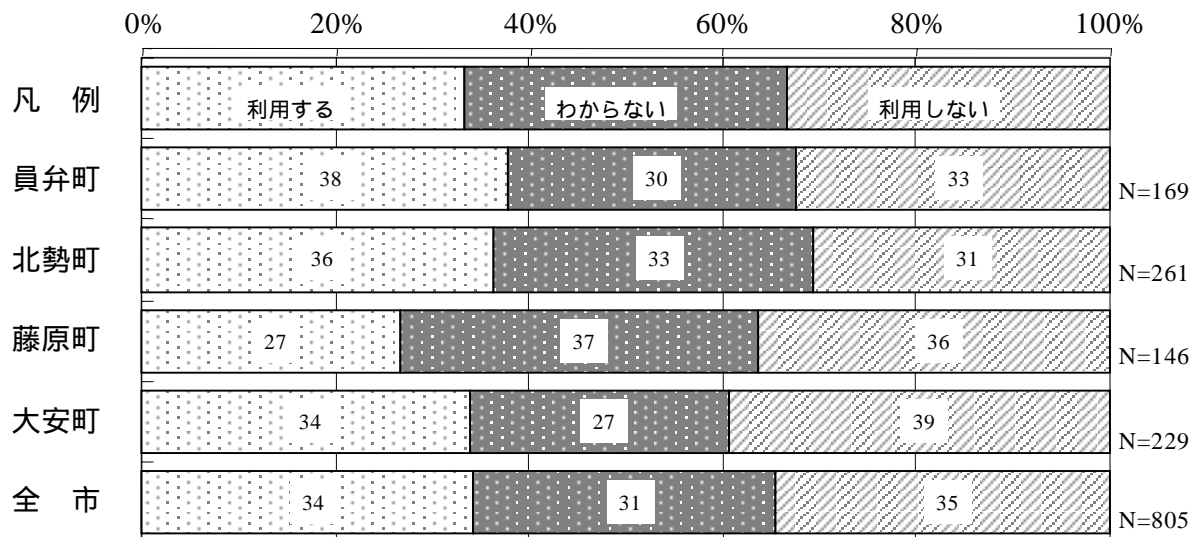


図4-11 不満解消後のバス利用の積極性

2) いなべ市におけるバス交通に対する意識

バス交通自体の今後の維持に関する質問では、年代に関係なく全体的に「維持すべき」とする意見が大多数である。

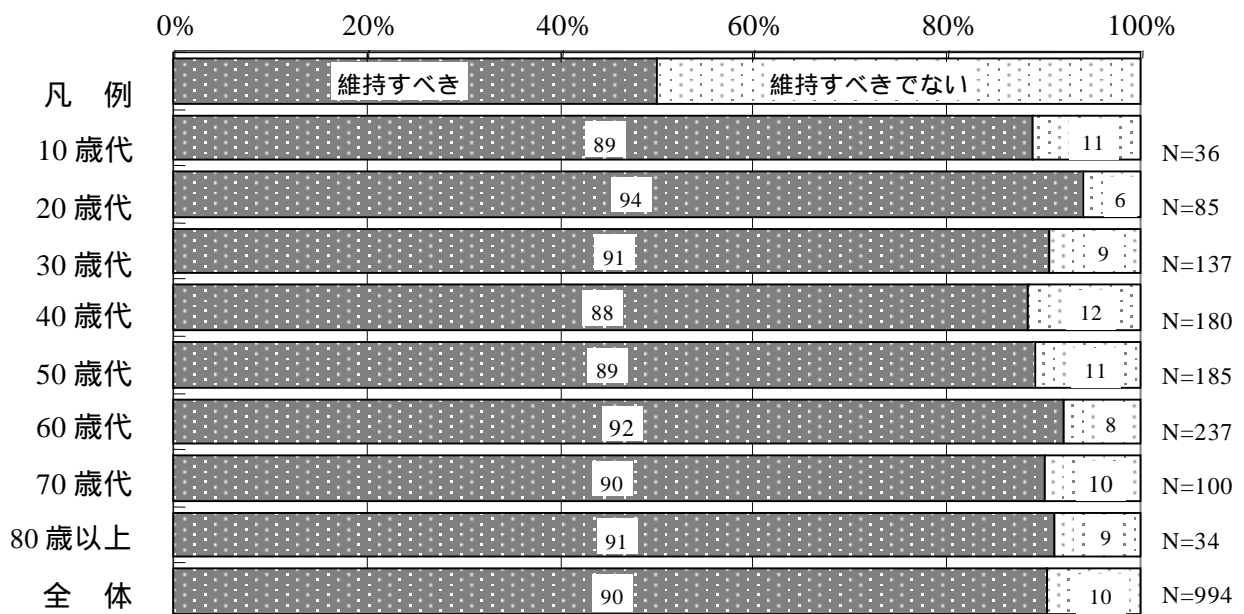


図4-12 バス交通の必要性に関する意識

維持すべきとの回答の中で、現状のバス運行形態を見直すべきかとの問いに対する旧町別および年代別集計結果を下図に示す。

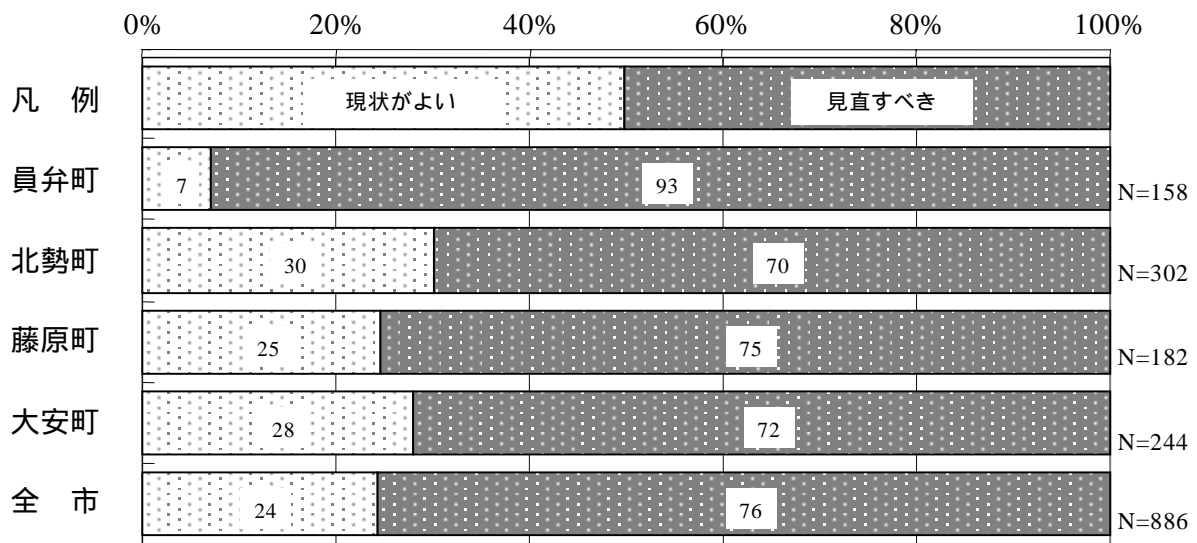


図 4 - 1 3 現状のバス交通に関する意識

アンケート結果により、いなべ市全域におけるバス交通の維持は約 90%の市民から支持されていることがわかる。しかしその一方で、現状のバス交通見直しの必要性を多くの市民が指摘している。ちなみに、旧 4 町別に見ると、現状バス路線のない員弁町住民が特に現状の見直しを要望している。

年齢別に集計したものを下図に示すが、見直しに関しては年齢による意見の偏りは少ない。

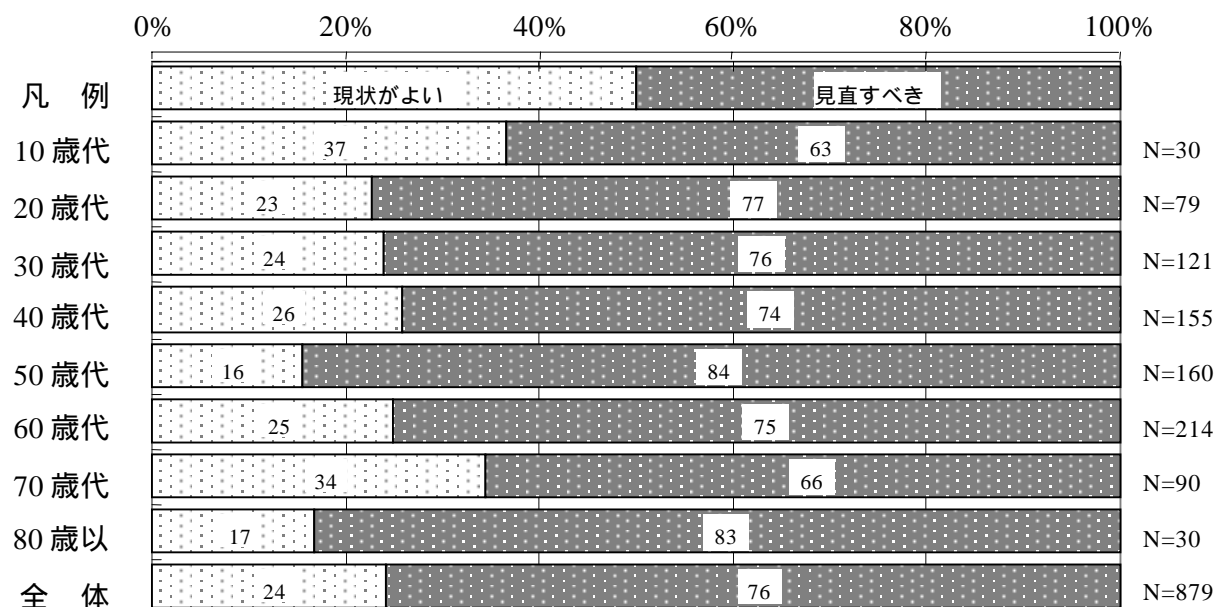


図 4 - 1 4 (年代別) 現状のバス交通に関する意識

3) いなべ市全体に求める運行形態

更に現状のバス運行を「見直すべき」と回答した方に、市域全体を対象とするバス運行形態を、高齢者を対象とした福祉バスのみにするか、あるいは対象者を限定しないバスにするかを質問した結果を旧町別および年代別に下図に示す。

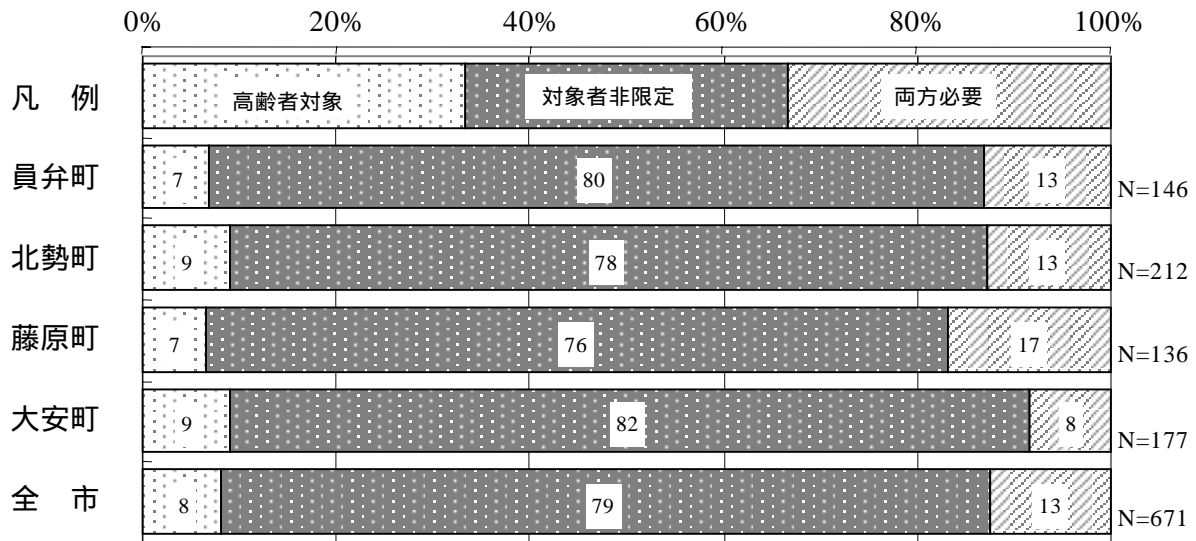


図4 - 15 バス交通利用者の対象者に関する意識

バス運行形態に関する質問では、高齢者のみを対象とした福祉バスではなく、利用対象者を限定しないコミュニティバスの一本化を多くの市民が支持している。

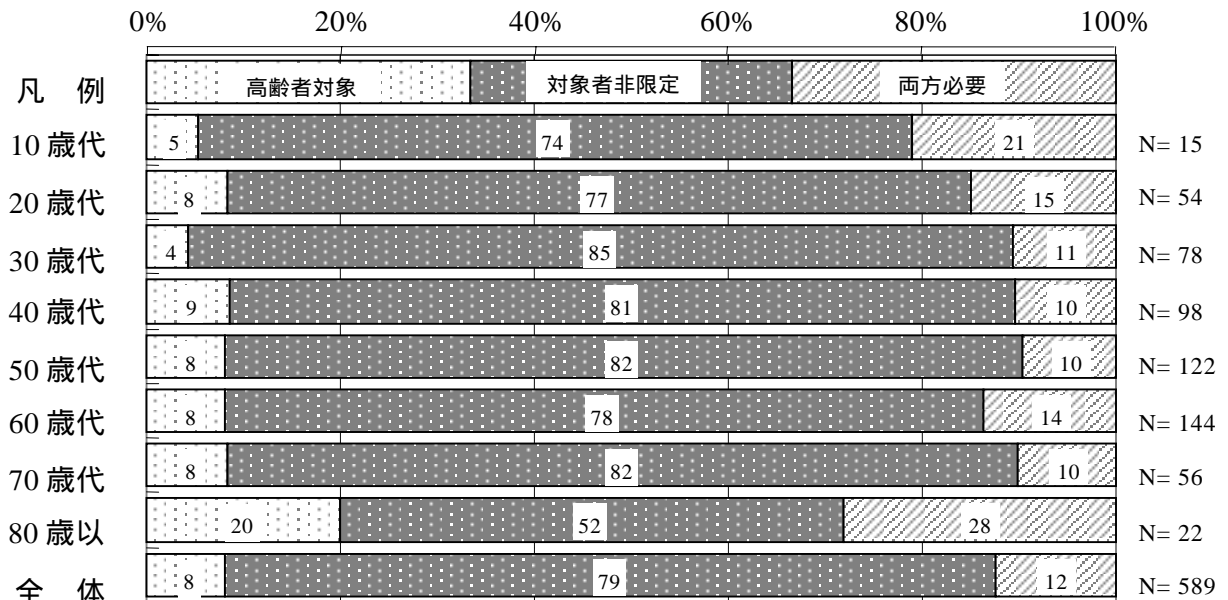


図4 - 16 (年代別) バス交通利用者の対象者に関する意識

4) 利用者負担のあり方および運賃に対する意識

次に現状のバス運行を「見直すべき」と回答した方に、利用者の負担に関する意識を質問した結果を旧町別および年代別に下図に示す。

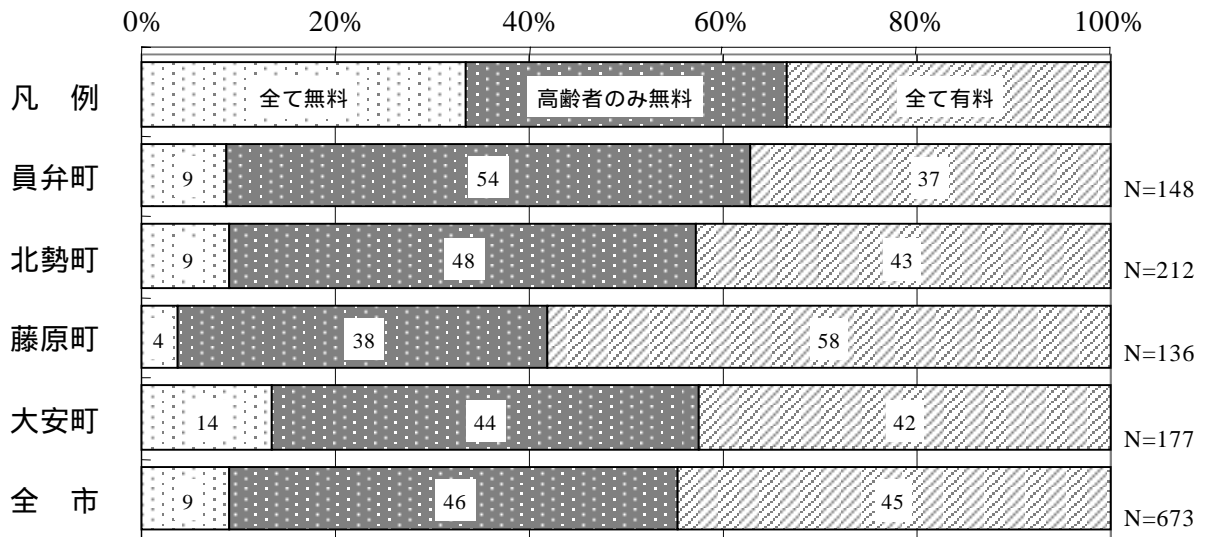


図4 - 17 利用者の負担に関する意識

利用者の負担に関するアンケート結果では、全市内バス無料化を希望する回答が少なく、高齢者等の一部無料対象者を考慮しつつ、有料であってもバスの維持を支持する意見が多い。

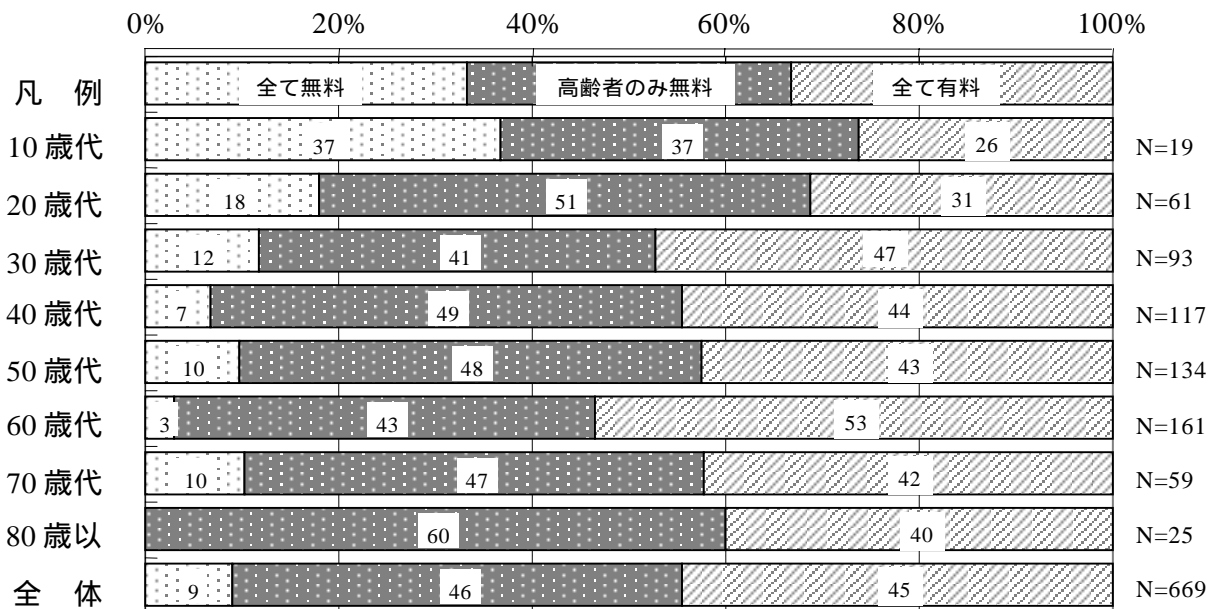


図4 - 18 (年代別) 利用者の負担に関する意識

また更に、利用者負担の考え方で「（高齢者のみ無料を含む）有料であるべき」と回答された方に、その利用者負担額（運賃）について尋ねた結果を下図に示す。

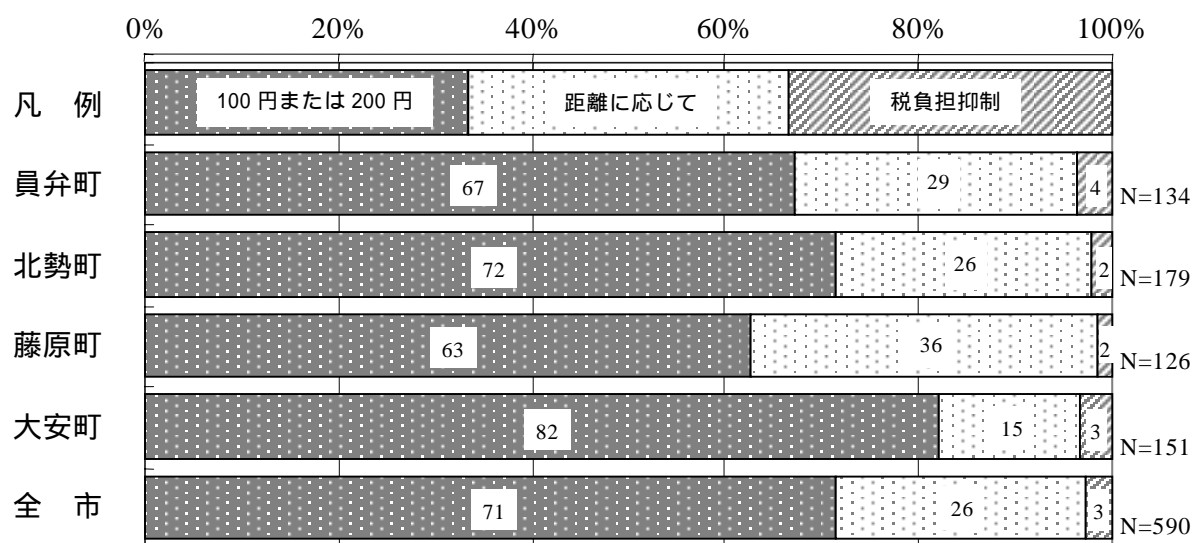


図4 - 19 利用者負担額（運賃）に関する意識

有料とした場合の運賃設定に関する質問では、100円または200円の定額制が望ましいとの意見が70%を占め、利用者の負担は認める一方、税金の投入は避けられないとの認識がある。また距離に応じて金額が変わる料金体系よりも、1コイン2コイン等のわかりやすく身近で利用しやすい運賃設定が望まれていると言える。

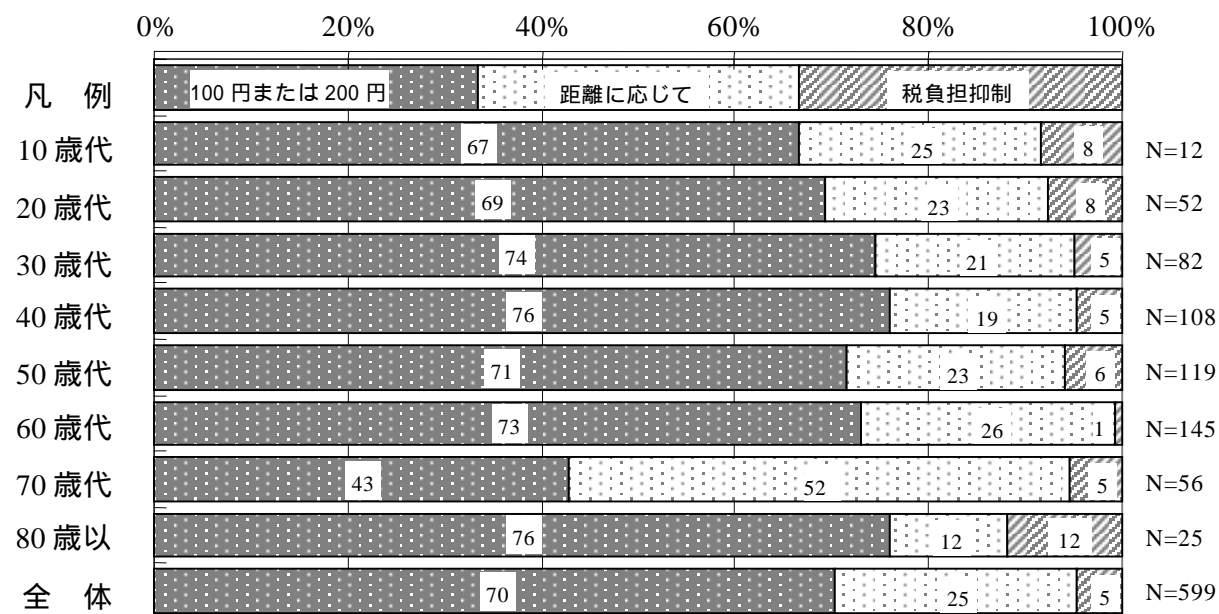


図4 - 20 (年代別) 利用者負担額（運賃）に関する意識

4 - 3 アンケート 2 次分析結果

4 - 3 - 1 2 次分析の内容

1) 目的別ゾーン別目的地利用度

いなべ市を幾つかのゾーンに分けて各地域の住民の目的別移動先を集計・分析する。対象とする目的は、通勤通学 / 買い物 / 通院 / 公共施設 / 娯楽の 5 つとする。

ゾーン設定は後述する「いなべ市バス交通基本構想案」に示される鉄軌道との連携に関するゾーンニングを採用し集計する。(いなべ市全体を 6 ゾーンに分割)

2) 時間帯別目的別行動開始度

先の目的別ゾーン別目的地利用度同様、通勤通学 / 買い物 / 通院 / 公共施設 / 娯楽の 5 つの目的に対して行動を開始する時間帯をアンケートより集計し分析する。

3) 自由意見欄の意見別集計グラフ

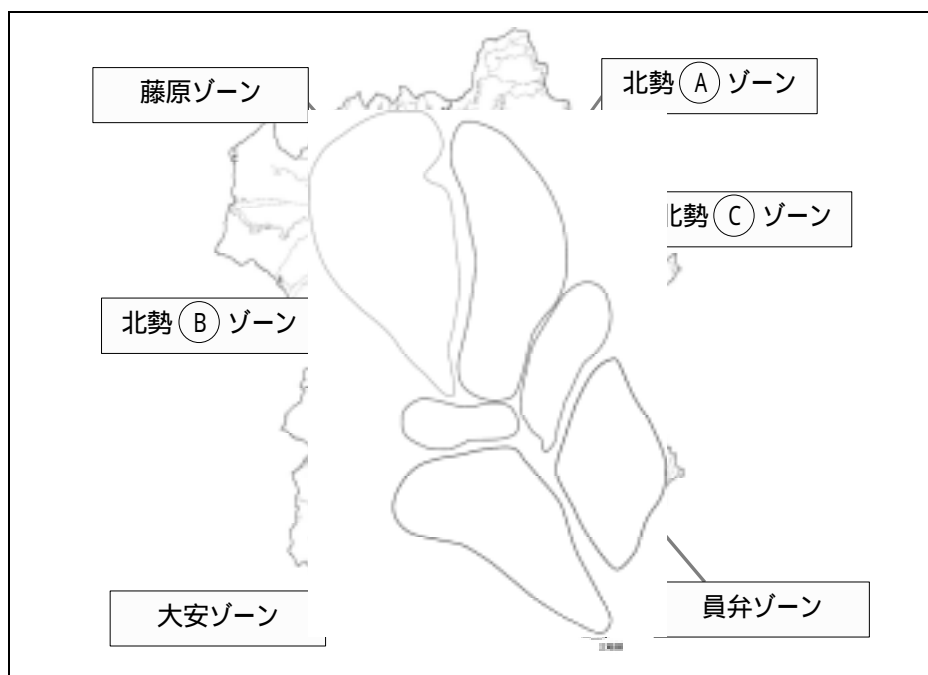
アンケートの自由意見欄の回答内容を意見別に集計する。(自由意見欄の全回答は巻末に参考資料として添付する。)

4 - 3 - 2 目的別ゾーン別目的地利用度

(1) 目的別ゾーン別目的地利用度グラフの見方

ゾーン分割

市内の目的別の移動傾向をみるため、市域を 6 つのゾーンに分割し、アンケート結果を集計する。なお、ゾーン分割にあたっては、現行の自主運行バス路線の路線域 4 ゾーンと鉄軌道沿線地帯 2 ゾーンとに分割した。




4 - 2 1 集計ゾーン設定

図の見方



左図は例として、藤原ゾーンの住民が通勤通学を目的に利用している地区への利用度数割合（後述）を示している。矢印の太さは利用度数割合の高低を表し、太い程割合が高いことを意味する。

また  は、対象ゾーン（例では藤原ゾーン）が目的地区である利用度数割合を示している。図の下にある表は利用度数割合の具体的な数値を示している。

	藤原町内	北勢町	員弁町	大安町	東員町	桑名方面	名古屋方面	四日市方面	岐阜方面	大阪	合計
利用人数（人）	46	18	5	8	4	12	2	13	1	1	110
利用度数（度）	3724	1694	436	765	336	965	193	1108	100	22	9343
度数の割合（%）	39.9	18.1	4.7	8.2	3.6	10.3	2.1	11.9	1.1	0.2	100.0

図 4 - 2 2 結果図の例

表の見方

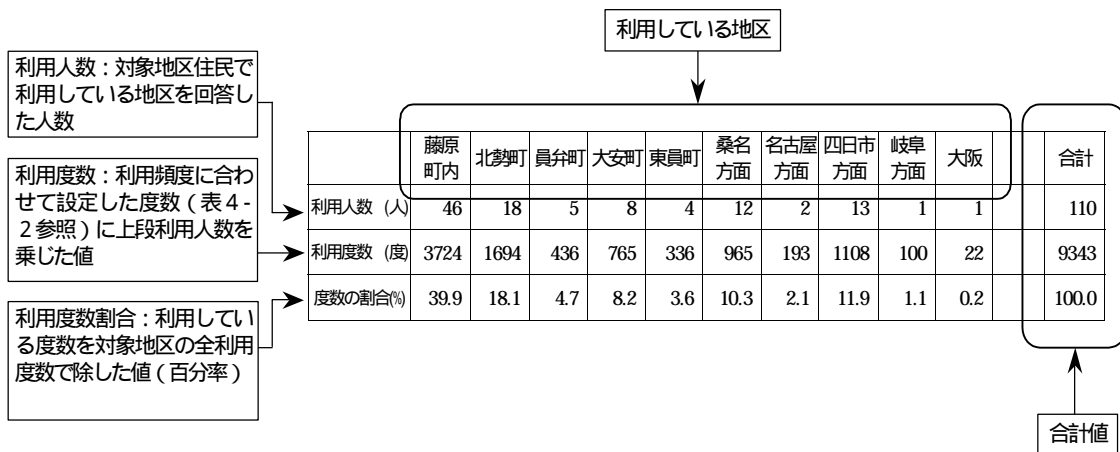


図 4 - 2 3 表の見方説明図

表 4 - 2 利用頻度と度数の設定

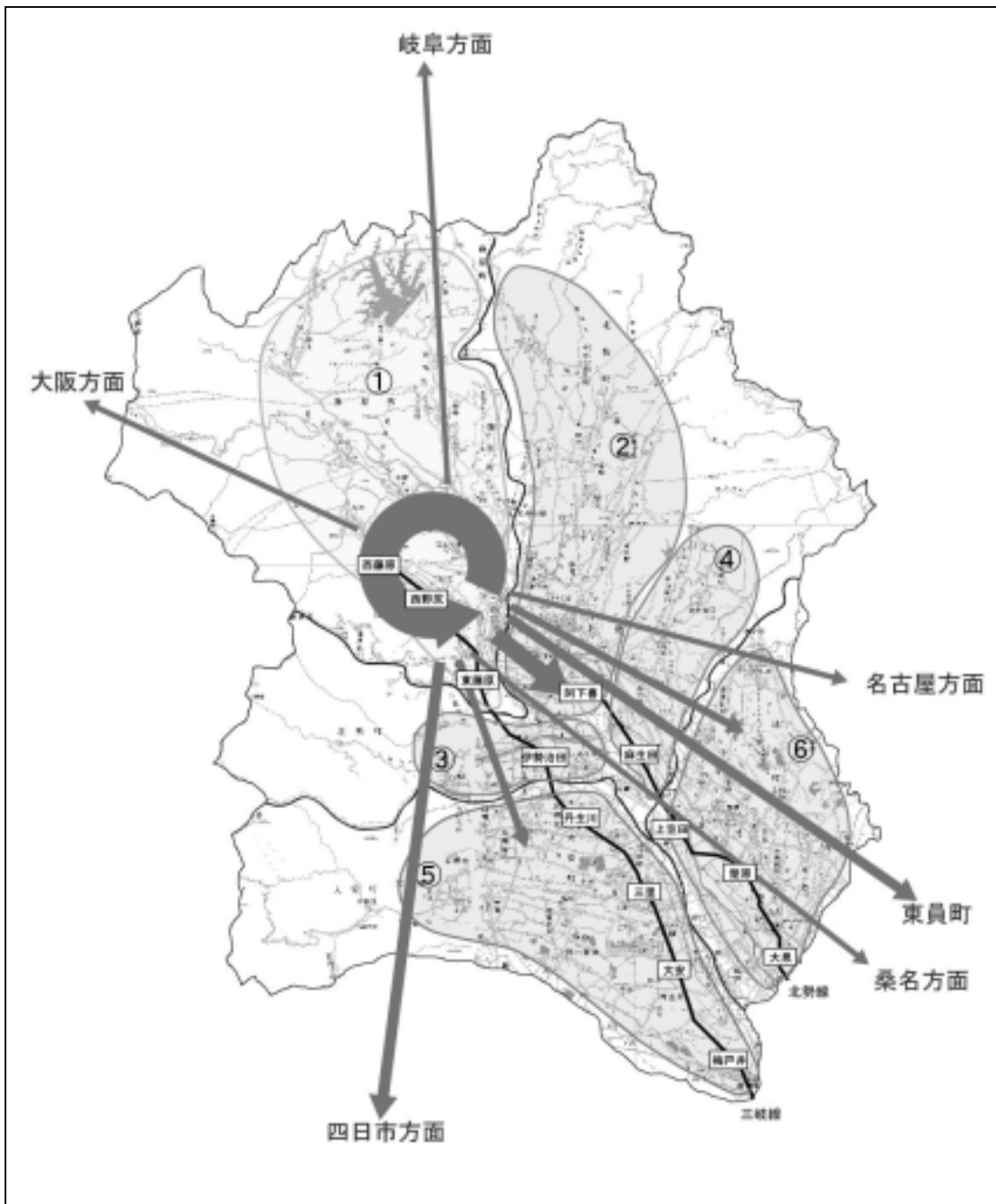
利用頻度	度数
1. 毎日利用	100
2. 週 5~6 回	93
3. 週 3~4 回	50
4. 週 1~2 回	22
5. 月 1~2 回	6
6. 年 1~2 回	1

例えば、地区を利用している人が
 週 5~6 回の人 5人
 月 1~2 回の人 3人
 年 1~2 回の人 2人
 であった場合、その地区への利用度数は
 $(5 \times 93) + (3 \times 6) + (2 \times 1) = 485$
 となる。

(2) 目的別ゾーン別目的地利用度分析結果

1) 【通勤通学】

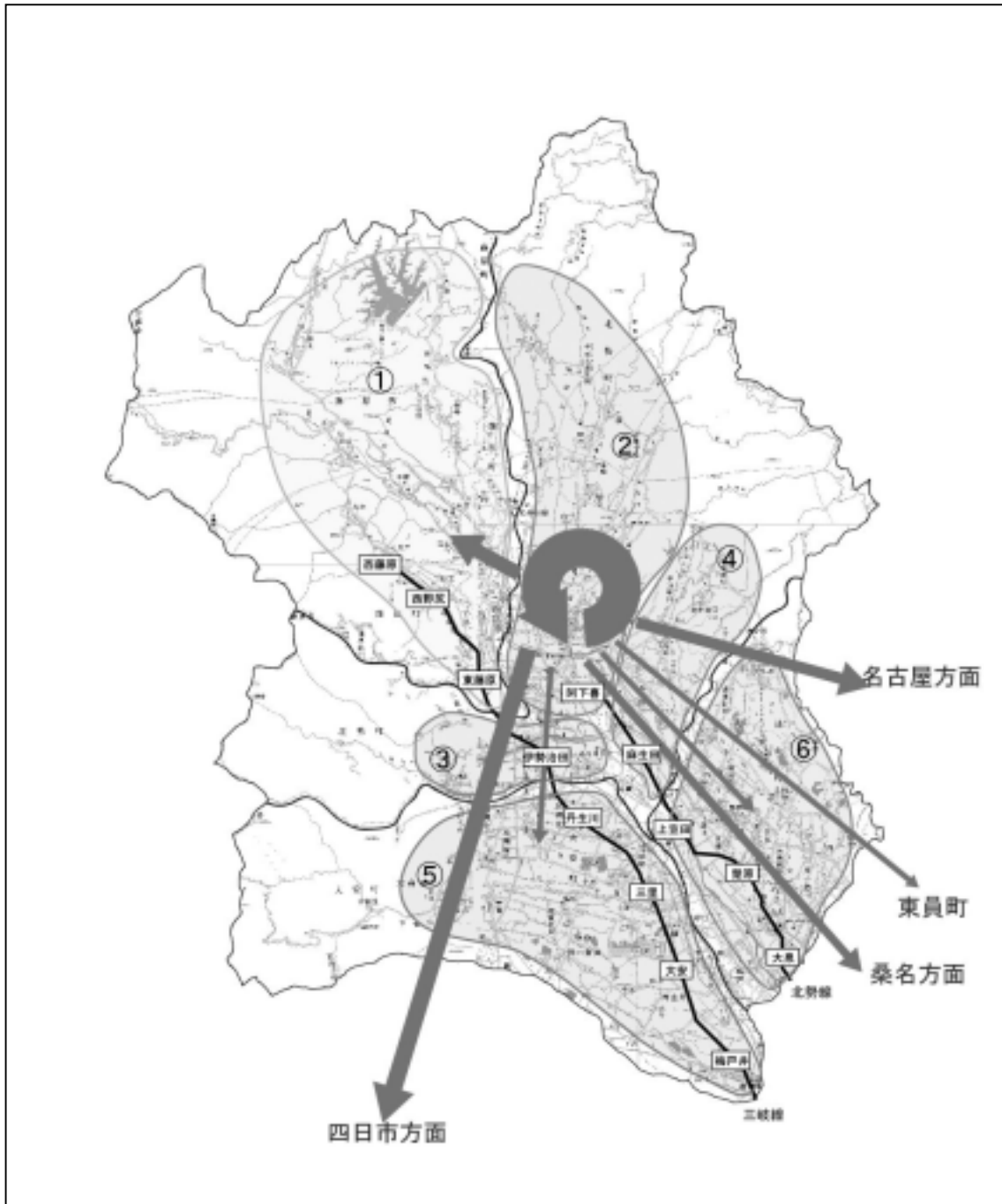
a) 藤原ゾーンにおける通勤通学の目的地利用度



	藤原町内	北勢町	員弁町	大安町	東員町	桑名方面	名古屋方面	四日市方面	岐阜方面	大阪		合計
利用人数 (人)	46	18	5	8	4	12	2	13	1	1		110
利用度数 (度)	3,724	1,694	436	765	336	965	193	1,108	100	22		9,343
度数の割合(%)	39.9	18.1	4.7	8.2	3.6	10.3	2.1	11.8	1.1	0.2		100.0

図4 - 2 4 藤原ゾーンにおける通勤通学の目的地利用度

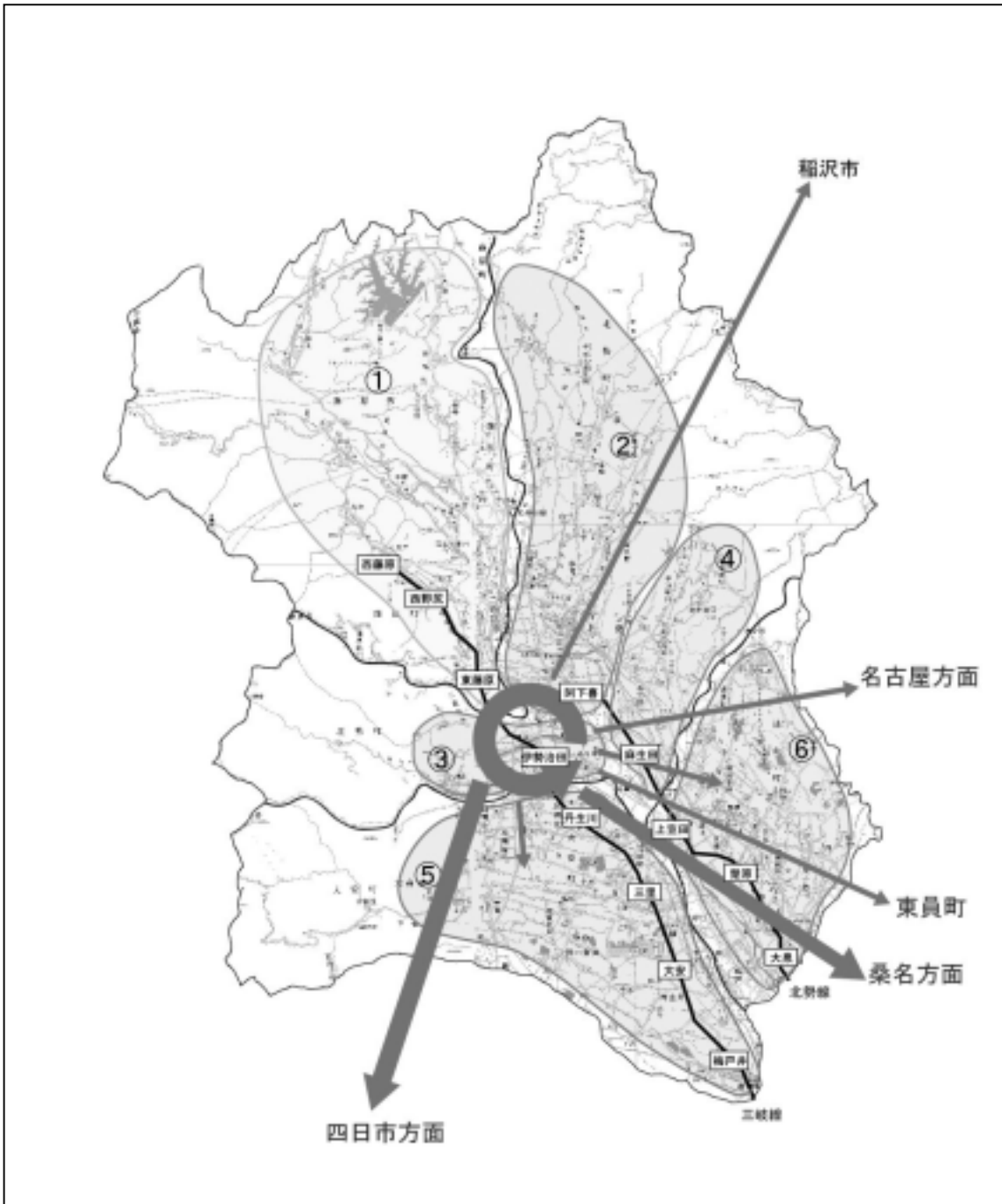
b) 北勢 Aゾーンにおける通勤通学の目的地利用度



	北勢町内	藤原町	員弁町	大安町	東員町	桑名方面	名古屋方面	四日市方面				合計
利用人数 (人)	33	11	2	4	3	5	6	8				78
利用度数 (度)	2,874	1,001	143	336	286	479	399	772				6,290
度数の割合(%)	45.7	15.9	2.3	5.4	4.5	7.6	6.3	12.3				100.0

図4 - 25 北勢 Aゾーンにおける通勤通学の目的地利用度

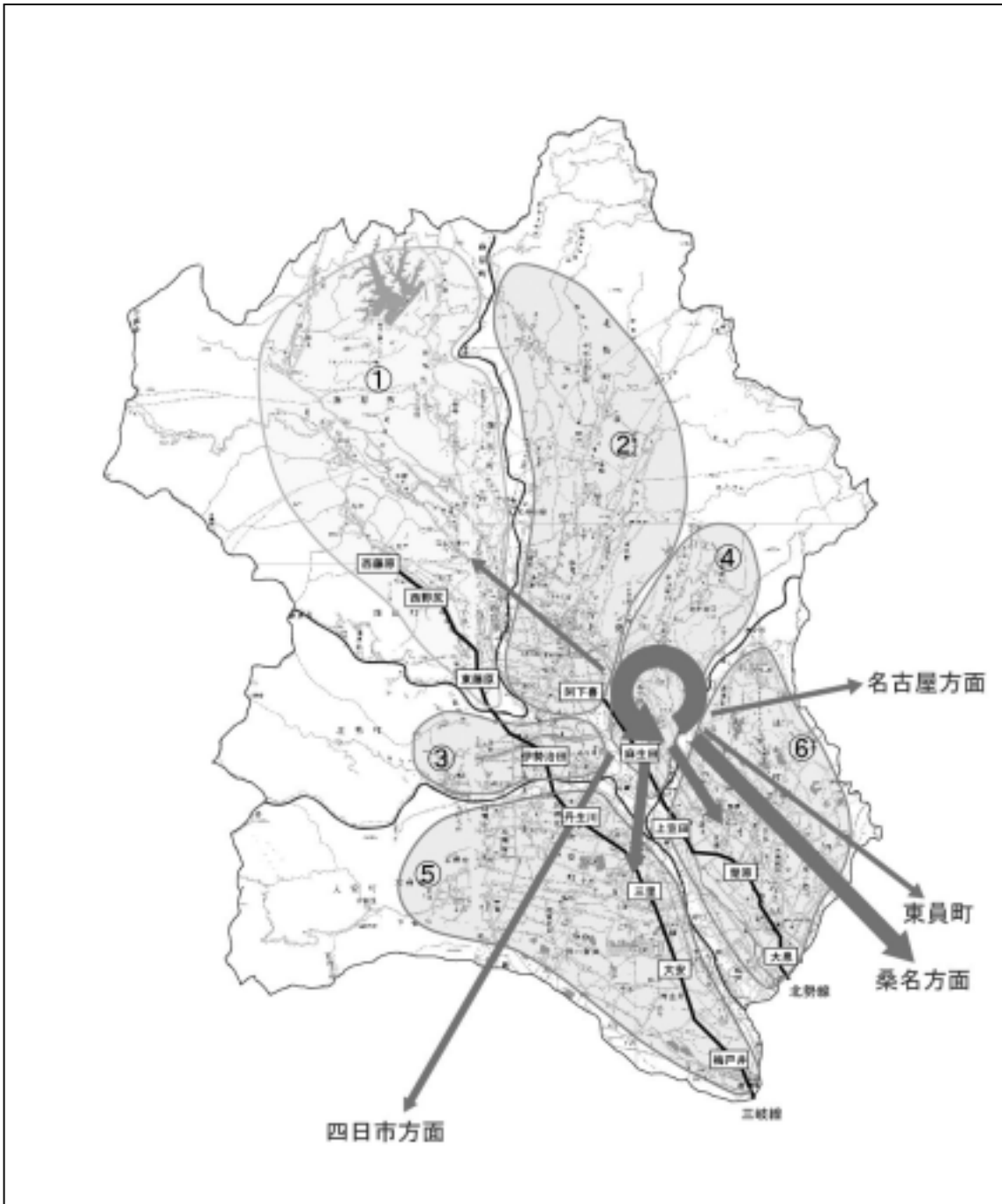
c) 北勢 Bゾーンにおける通勤通学の目的地利用度



	北勢町内	藤原町	員弁町	大安町	東員町	桑名方面	名古屋方面	四日市方面	稲沢市			合計
利用人数 (人)	19	5	1	1	1	6	1	3	1			44
利用度数 (度)	1,551	429	50	93	93	579	93	794	50			3,732
度数の割合(%)	41.6	11.5	1.3	2.5	2.5	15.5	2.5	21.3	1.3			100.0

図4 - 26 北勢 Bゾーンにおける通勤通学の目的地利用度

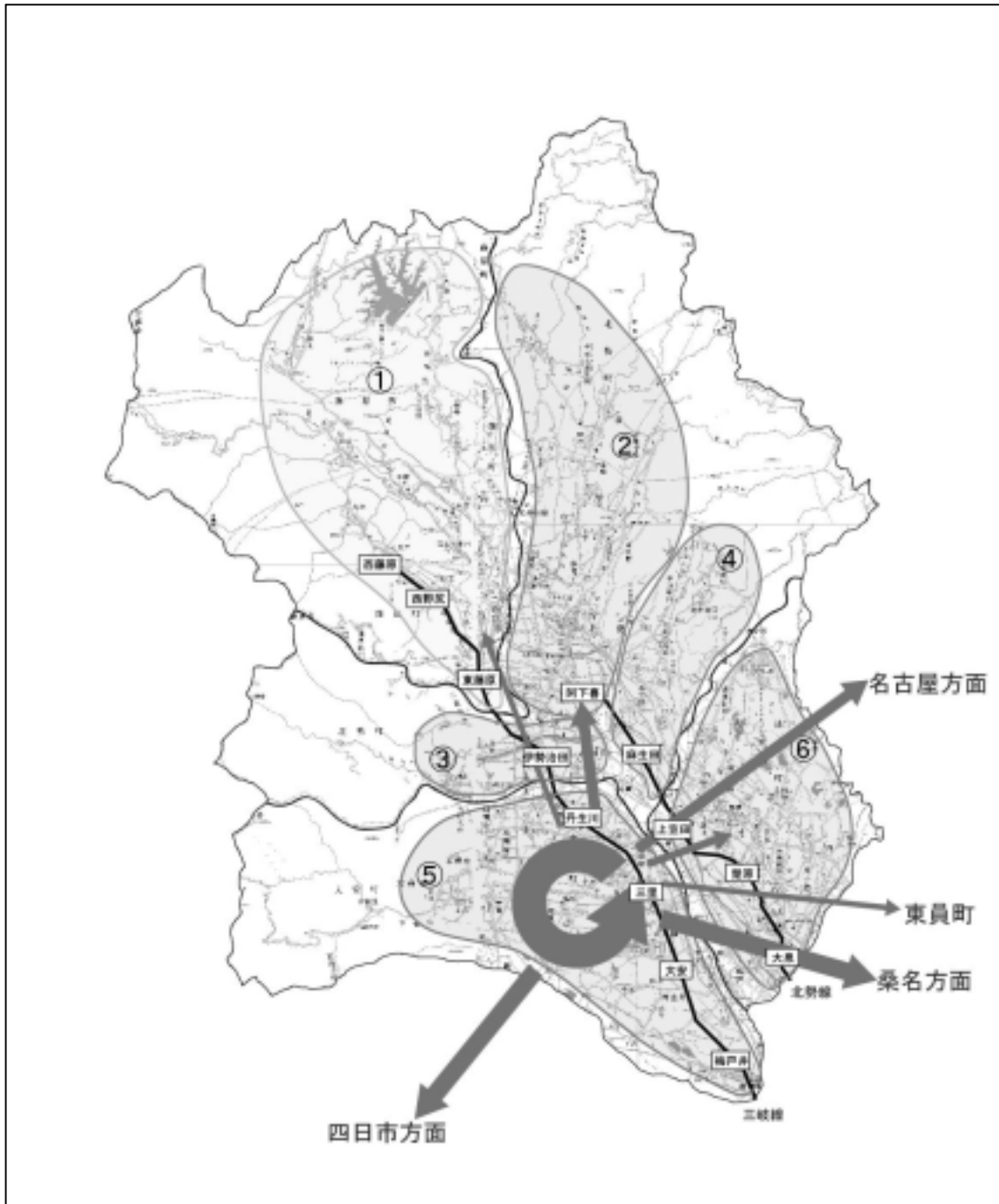
d) 北勢Cゾーンにおける通勤通学の目的地利用度



	北勢町内	藤原町	員弁町	大安町	東員町	桑名方面	名古屋方面	四日市方面				合計
利用人数 (人)	30	3	9	11	2	16	7	5				83
利用度数 (度)	2,602	150	822	916	186	1,309	608	408				7,001
度数の割合(%)	37.2	2.1	11.7	13.1	2.7	18.7	8.7	5.8				100.0

図4 - 27 北勢Cゾーンにおける通勤通学の目的地利用度

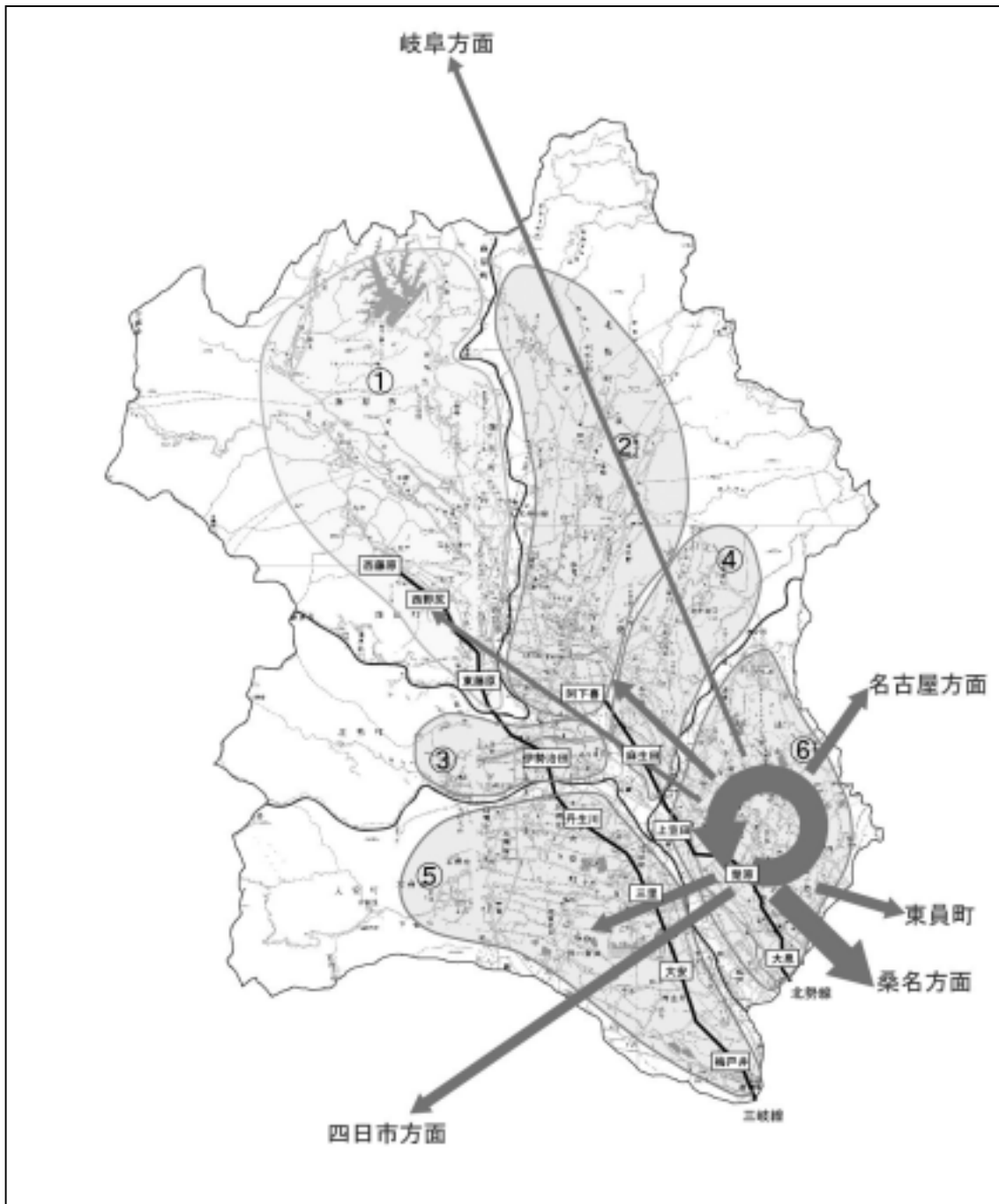
e) 大安ゾーンにおける通勤通学の目的地利用度



	大安町内	藤原町	北勢町	員弁町	東員町	桑名方面	名古屋方面	四日市方面				合計
利用人数 (人)	66	3	16	10	6	33	17	39				190
利用度数 (度)	5,820	293	1,409	965	536	3,045	1,616	3,161				16,845
度数の割合(%)	34.5	1.7	8.4	5.7	3.2	18.1	9.6	18.8				100.0

図4 - 28 大安ゾーンにおける通勤通学の目的地利用度

f) 員弁ゾーンにおける通勤通学の目的地利用度

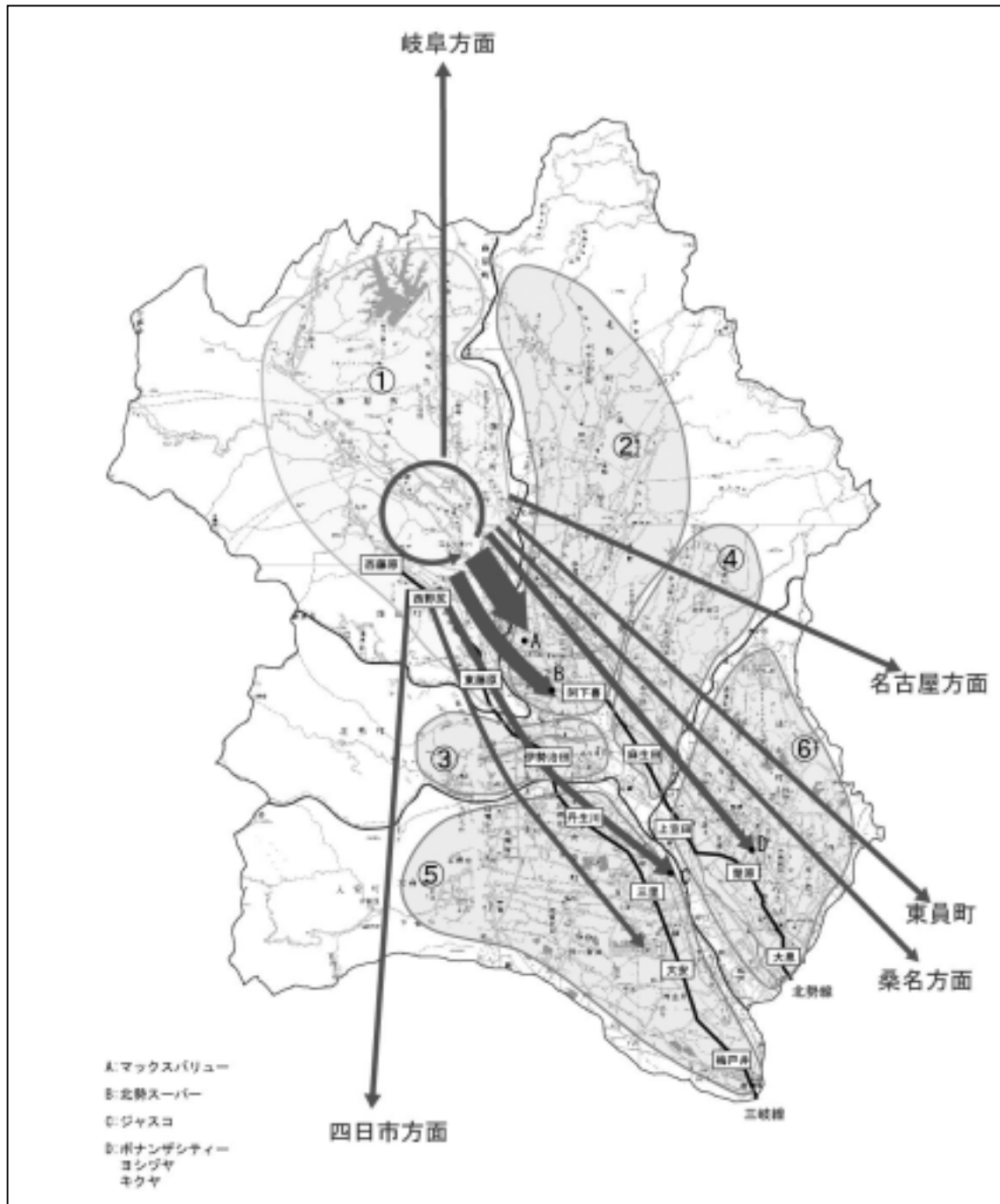


	員弁町内	藤原町	北勢町	大安町	東員町	桑名方面	名古屋方面	四日市方面	岐阜方面		合計
利用人数 (人)	37	1	9	11	10	31	11	14	1		125
利用度数 (度)	3,168	93	808	994	908	2,724	994	1,223	93		11,005
度数の割合(%)	28.8	0.8	7.4	9.0	8.3	24.8	9.0	11.1	0.8		100.0

図4 - 29 員弁ゾーンにおける通勤通学の目的地利用度

2) 【買物】

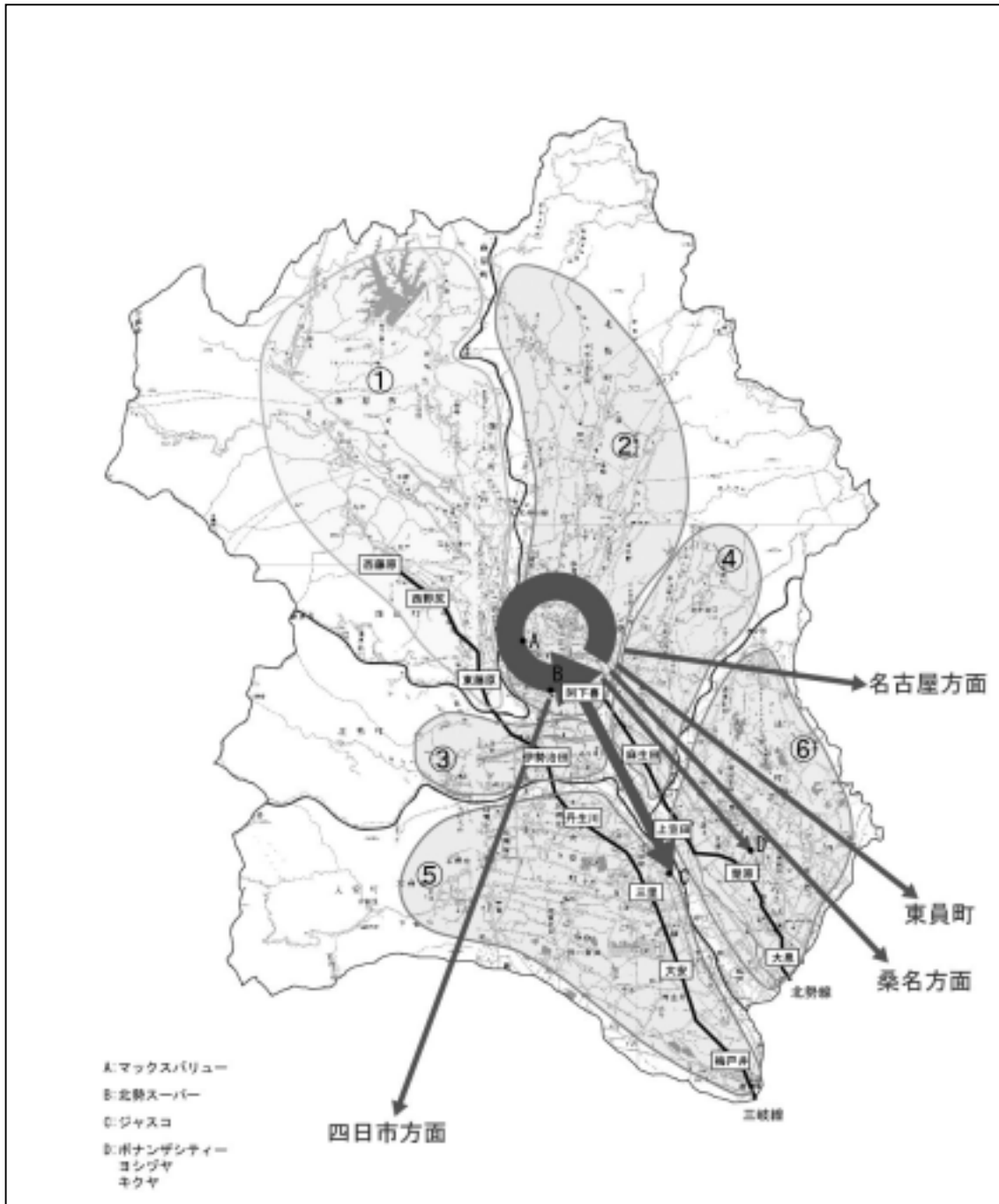
a) 藤原ゾーンにおける買物の目的地利用度



	藤原町内	マックスバリュ	阿下喜駅周辺	ポナンザシティ	ジャスコ	大安駅周辺	東員町	桑名方面	名古屋方面	四日市方面	岐阜方面	合計
利用人数 (人)	3	63	39	5	24	2	1	11	2	8.	4	162
利用度数 (度)	34	2,340	1,177	166	599	28	100	206	12	169	56	4,887
度数の割合 (%)	0.7	47.9	24.1	3.4	12.3	0.6	2.0	4.2	0.2	3.5	1.1	100.0

図4 - 30 藤原ゾーンにおける買物の目的地利用度

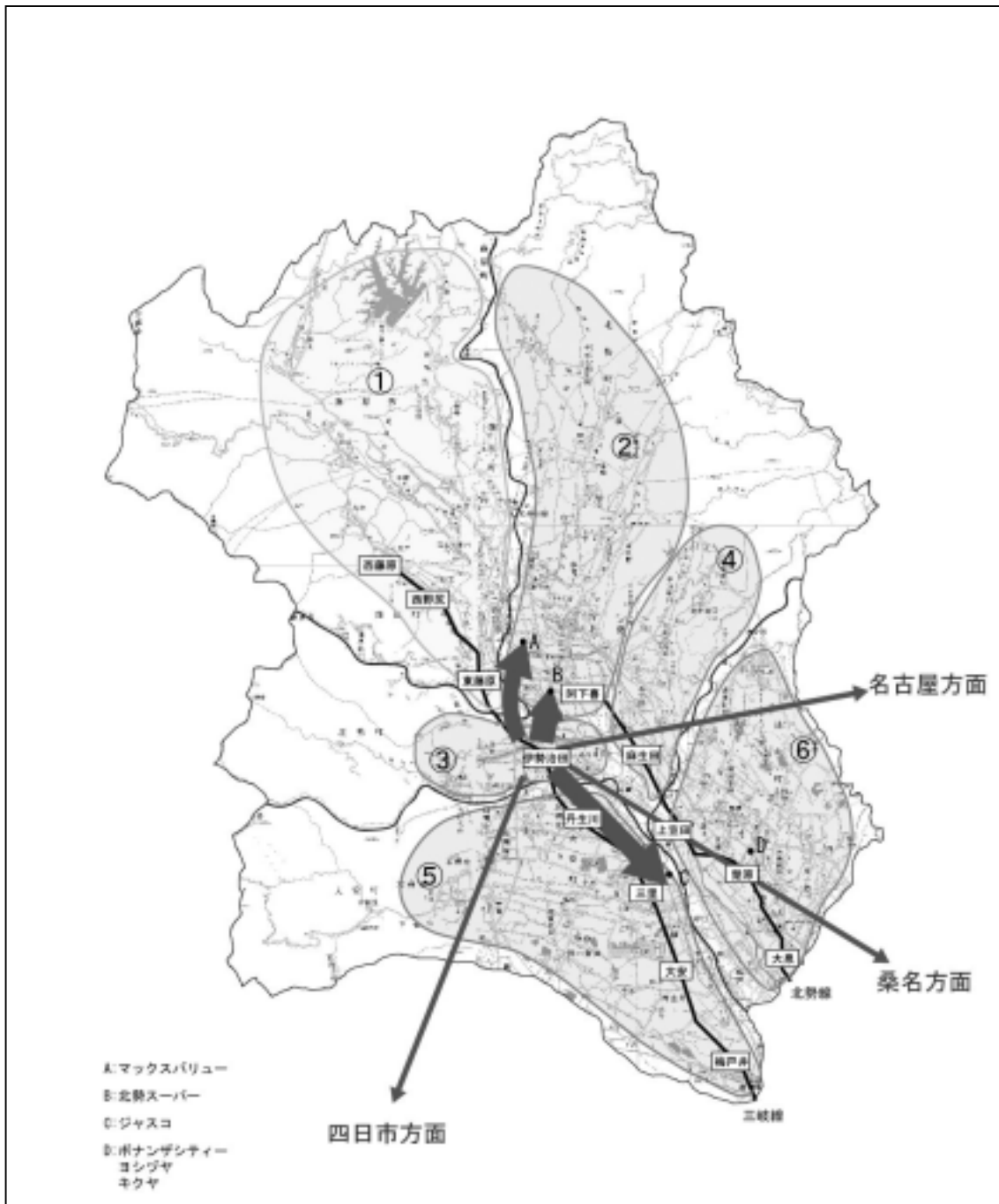
b) 北勢Aゾーンにおける買物の目的地利用度



	北勢町 ①内	ボナンザ シティ	ジャスコ	東員 町	桑名 方面	名古屋 方面	四日市 方面					合計
利用人数 (人)	69	5	26	3	15	5	3					126
利用度数 (度)	2,052	150	626	115	229	46	122					3,340
度数の割合(%)	61.4	4.5	18.7	3.4	6.9	1.4	3.7					100.0

図4 - 3 1 北勢Aゾーンにおける買物の目的地利用度

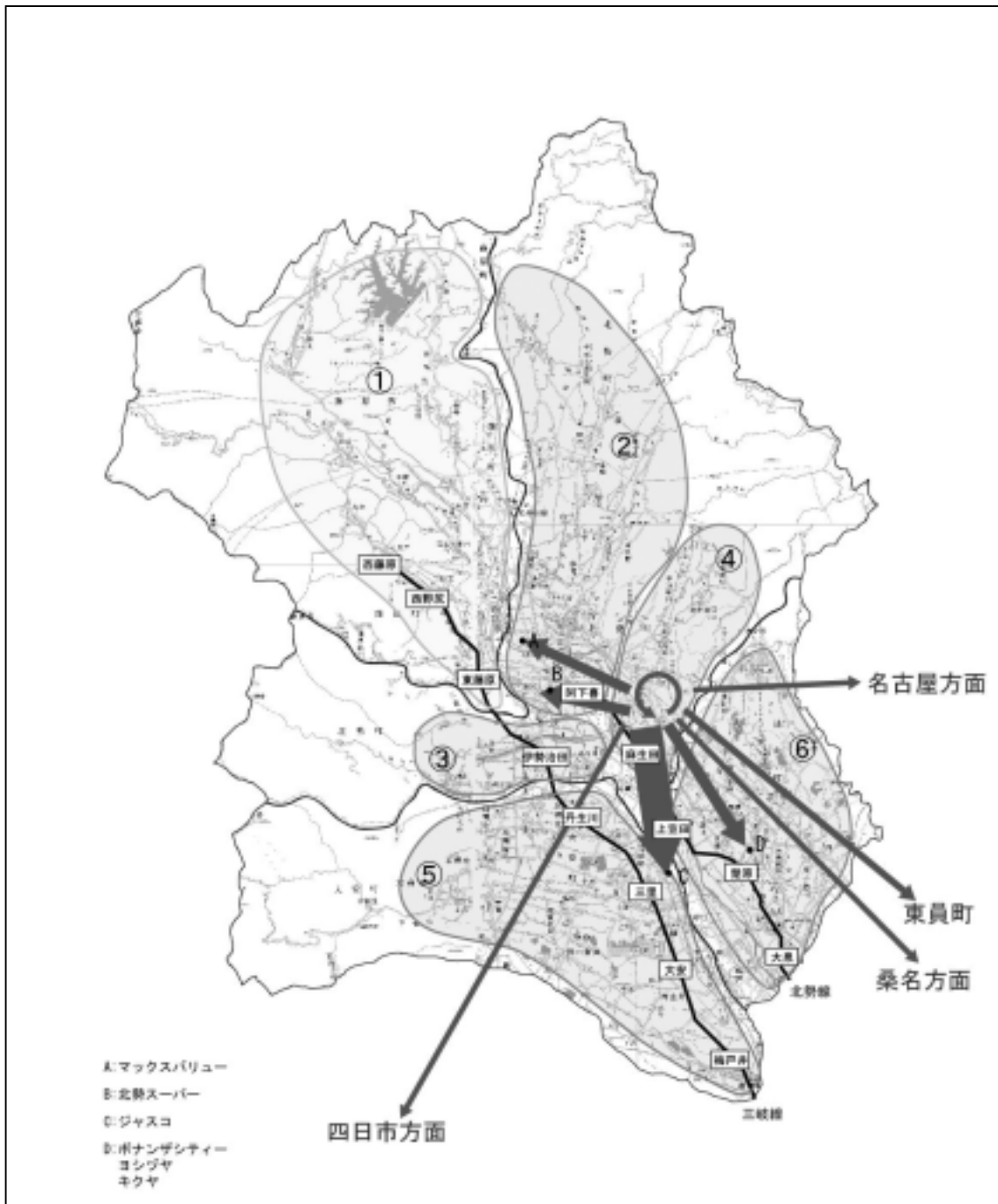
c) 北勢Bゾーンにおける買物の目的地利用度



	マックスバリュウ	阿下喜 駅周辺	ジャスコ	桑名 方面	名古屋 方面	四日市 方面					合計
利用人数 (人)	12	20	23	6	1	4					66
利用度数 (度)	483	739	572	112	6	56					1,968
度数の割合(%)	24.5	37.6	29.1	5.7	0.3	2.8					100.0

図4 - 3 2 北勢Bゾーンにおける買物の目的地利用度

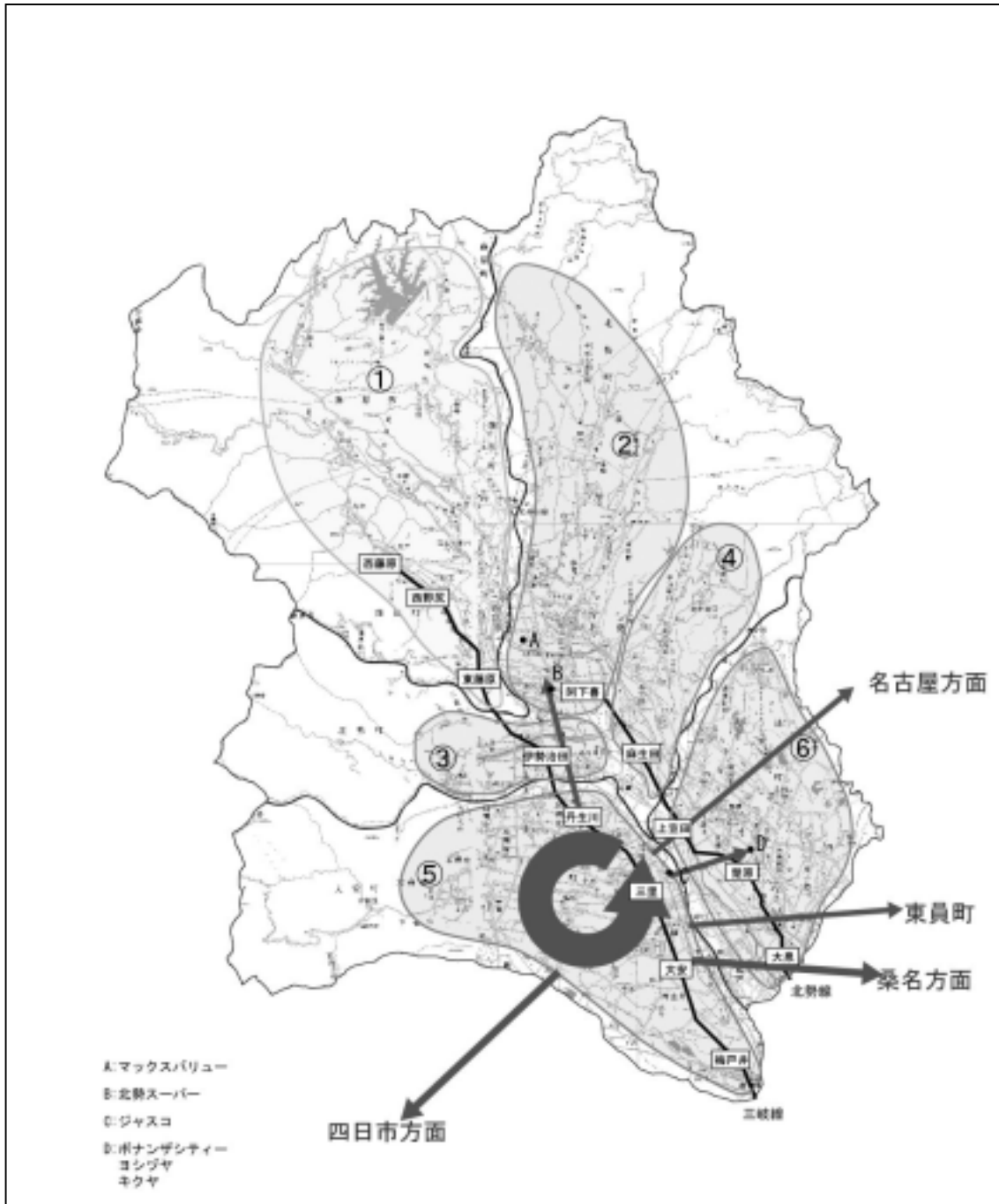
d) 北勢Cゾーンにおける買物の目的地利用度



	北勢町 ③内	マックス バリュー	阿下喜 駅周辺	ボナンザ シティ	ジャスコ	東員町	桑名 方面	名古屋 方面	四日市 方面			合計
利用人数 (人)	2	12	22	13	34	10	7	7	1			108
利用度数 (度)	200	482	531	575	1,290	338	271	32	50			3,769
度数の割合(%)	5.3	12.8	14.1	15.3	34.2	9.0	7.2	0.8	1.3			100.0

図4 - 3 3 北勢Cゾーンにおける買物の目的地利用度

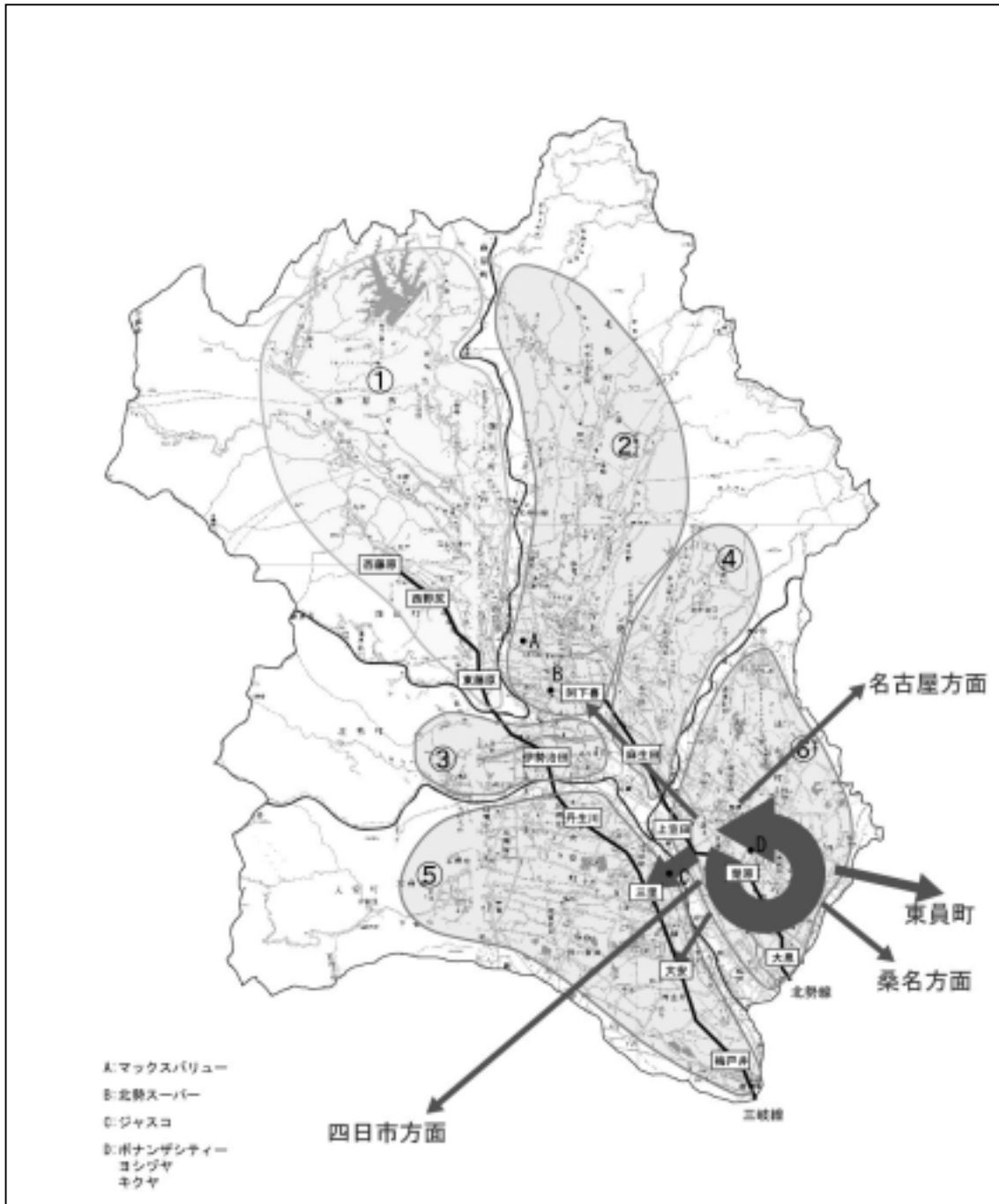
e) 大安ゾーンにおける買物の目的地利用度



	大安町内	阿下喜駅周辺	ボナンザシティ	東員町	桑名方面	名古屋方面	四日市方面					合計
利用人数 (人)	179	13	12	5	20	10	16					259
利用度数 (度)	6,019	382	406	134	550	55	359					7,905
度数の割合(%)	76.2	4.8	5.1	1.7	7.0	0.7	4.5					100.0

図4 - 3 4 大安ゾーンにおける買物の目的地利用度

f) 員弁ゾーンにおける買物の目的地利用度

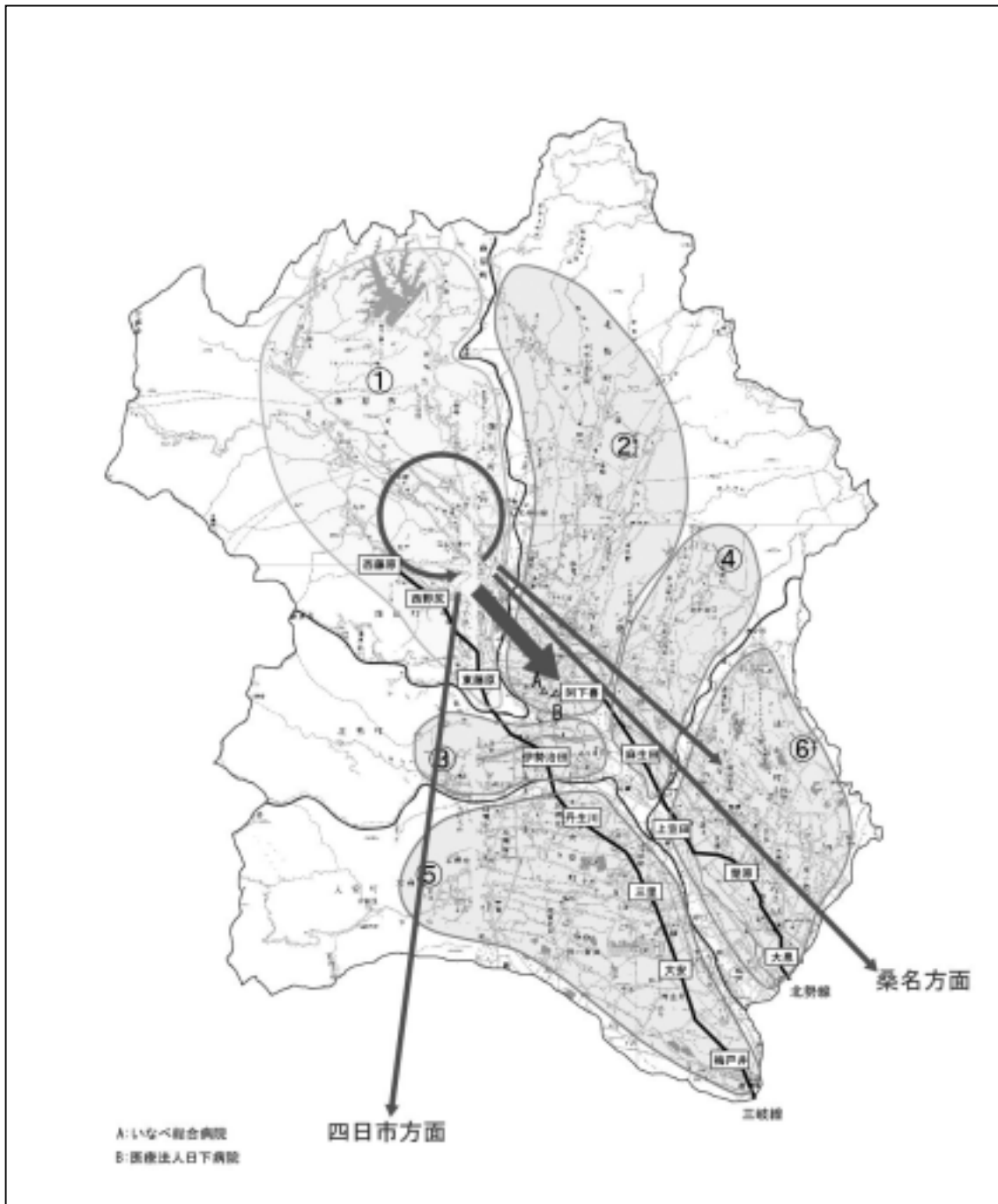


	員弁町内	ジャスコ	阿下喜駅周辺	大安町	東員町	桑名方面	名古屋方面	四日市方面				合計
利用人数 (人)	79	50	9	3	22	25	5	6				199
利用度数 (度)	2,890	1,603	414	78	896	548	36	84				6,549
度数の割合(%)	44.1	24.5	6.3	1.2	13.7	8.4	0.5	1.3				100.0

図4 - 3 5 員弁ゾーンにおける買物の目的地利用度

3) 【通院】

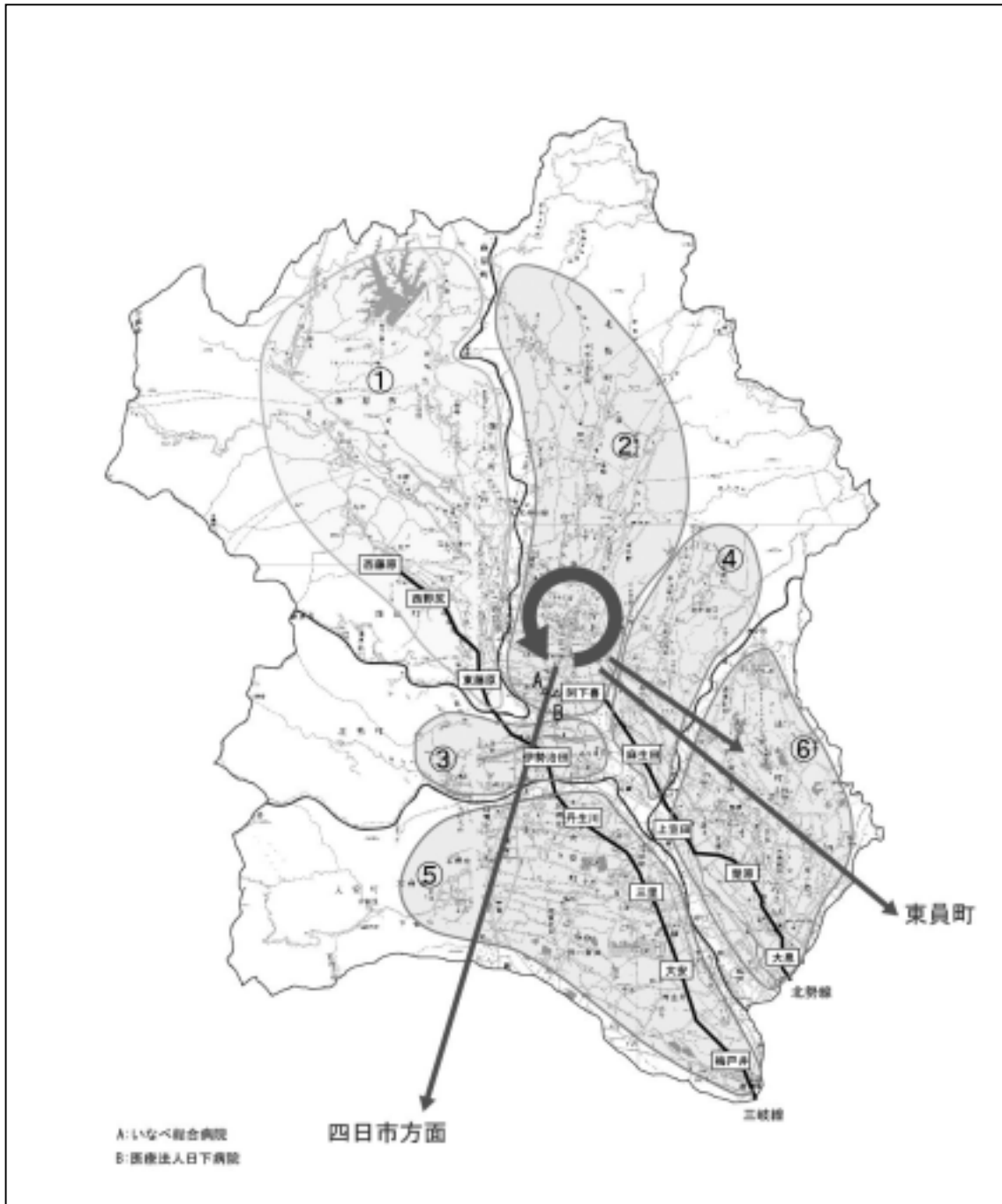
a) 藤原ゾーンにおける通院の目的地利用度



	藤原町内	北勢町	員弁町	桑名方面	四日市方面						合計
利用人数 (人)	11	106	1	6	3						127
利用度数 (度)	61	921	22	68	18						1,090
度数の割合(%)	5.6	84.5	2.0	6.2	1.7						100.0

図4 - 3 6 藤原ゾーンにおける通院の目的地利用度

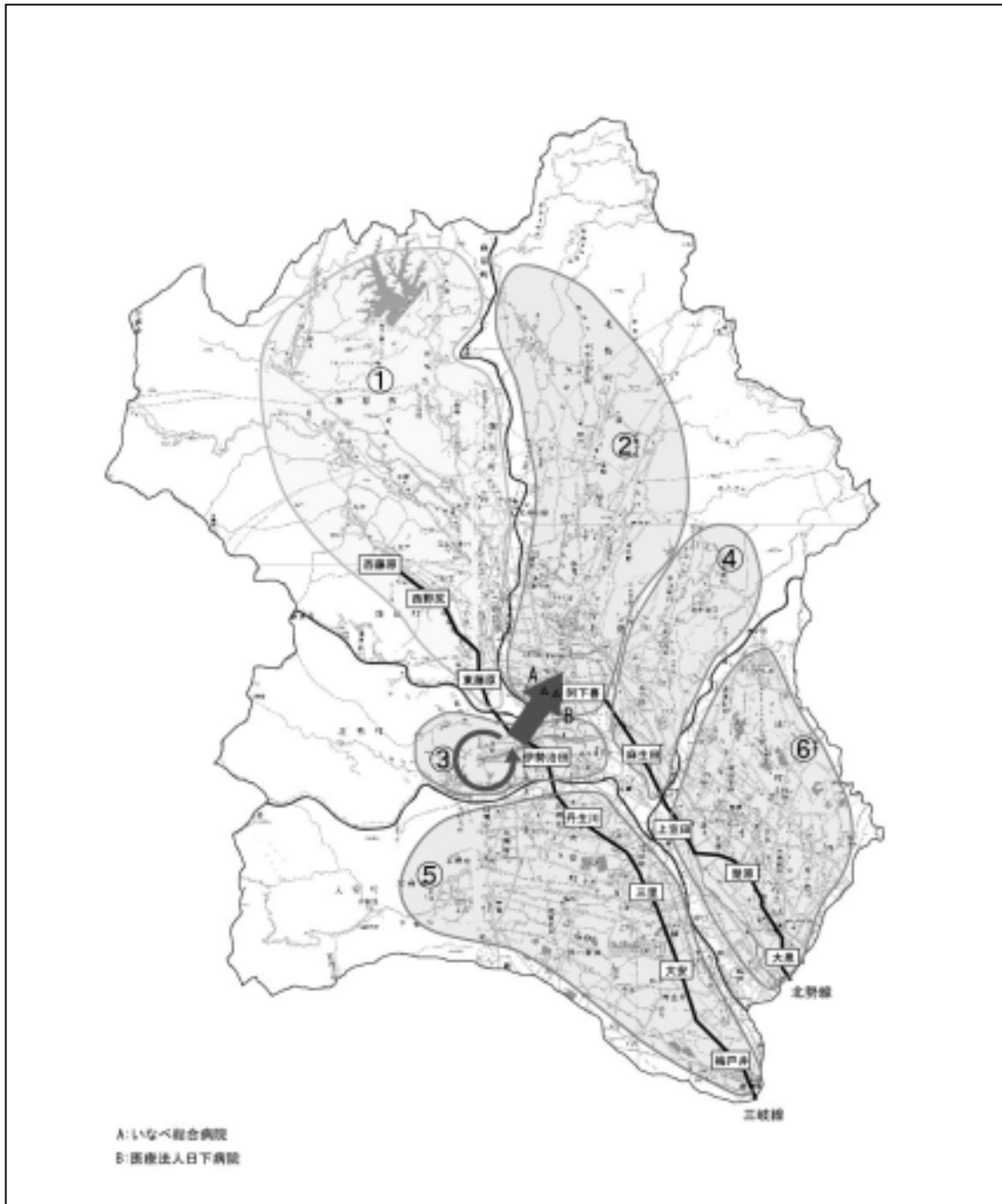
b) 北勢Aゾーンにおける通院の目的地利用度



	北勢町 ①内	員弁町	東員町	四日市 方面						合計
利用人数 (人)	98	1	1	4						104
利用度数 (度)	684	6	6	25						721
度数の割合(%)	94.9	0.8	0.8	3.5						100.0

図4 - 37 北勢Aゾーンにおける通院の目的地利用度

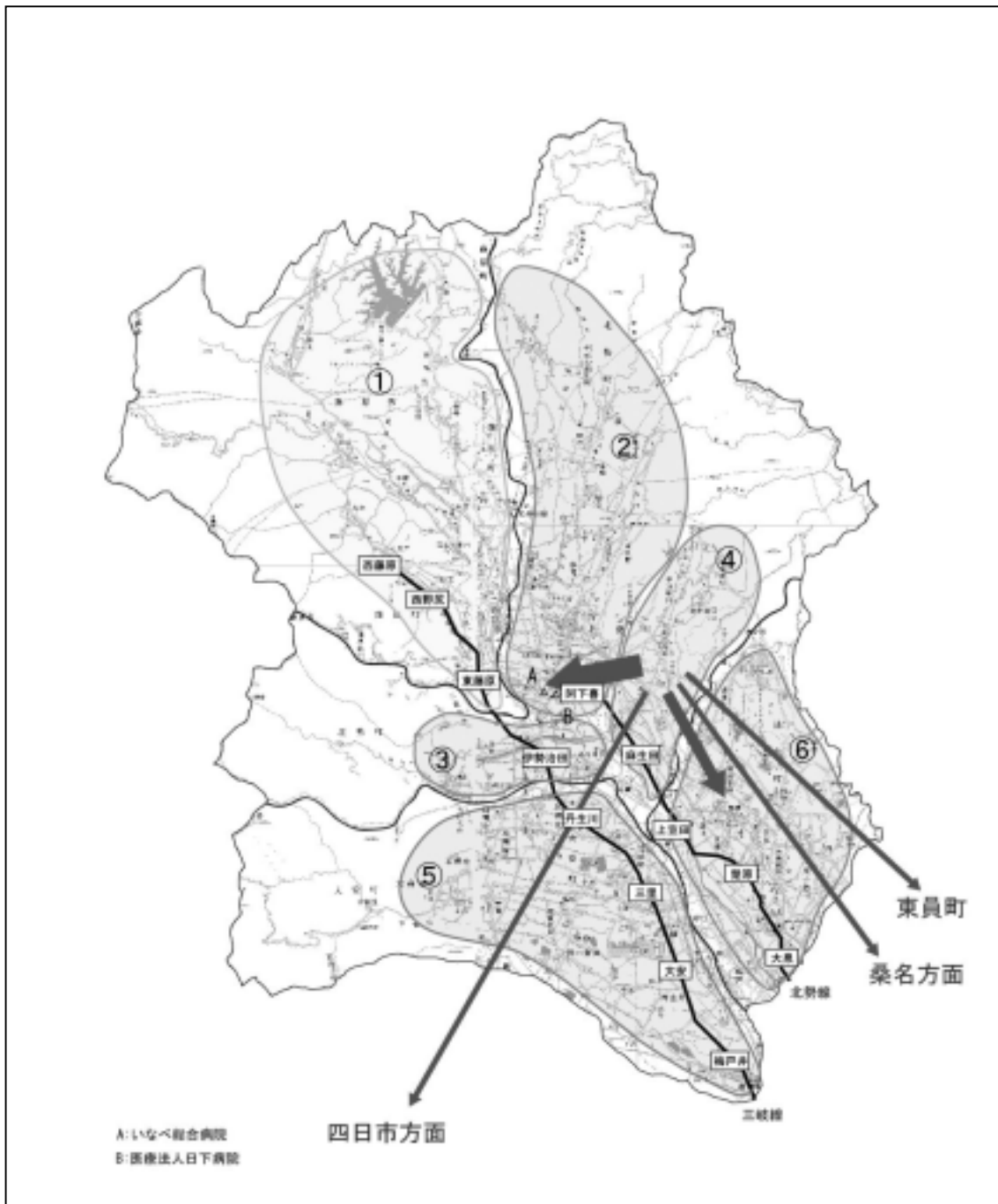
c) 北勢 B ゾーンにおける通院の目的地利用度



	北勢町 ⑥	北勢町 ④									合計
利用人数 (人)	2	49									51
利用度数 (度)	7	216									223
度数の割合(%)	3.1	96.9									100.0

図 4 - 3 8 北勢 B ゾーンにおける通院の目的地利用度

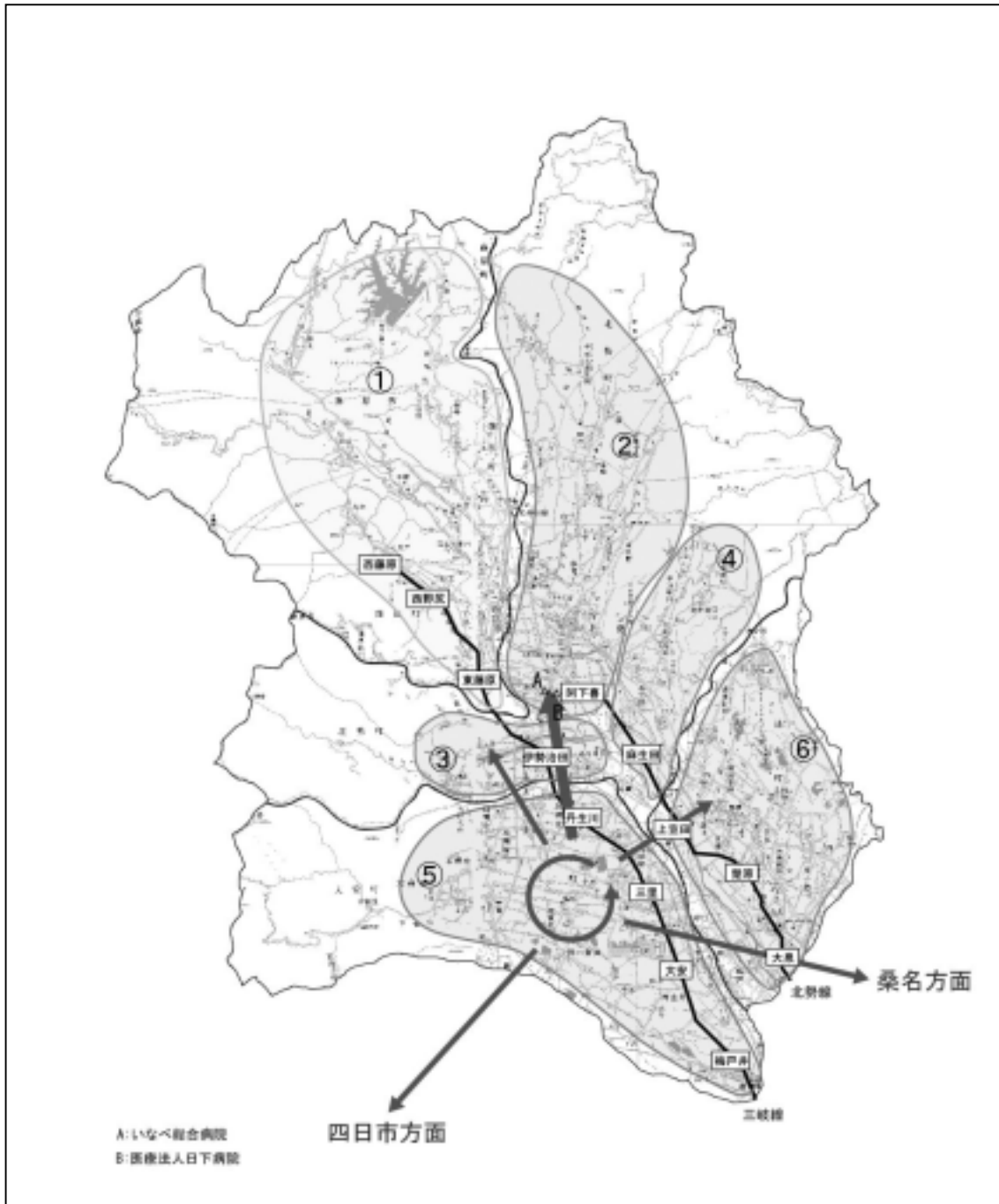
d) 北勢Cゾーンにおける通院の目的地利用度



	北勢町 ①	員弁町	東員町	桑名 方面	四日市 方面						合計
利用人数 (人)	59	4	3	3	2						71
利用度数 (度)	372	56	8	8	7						451
度数の割合(%)	82.5	12.4	1.8	1.8	1.5						100.0

図4 - 39 北勢Cゾーンにおける通院の目的地利用度

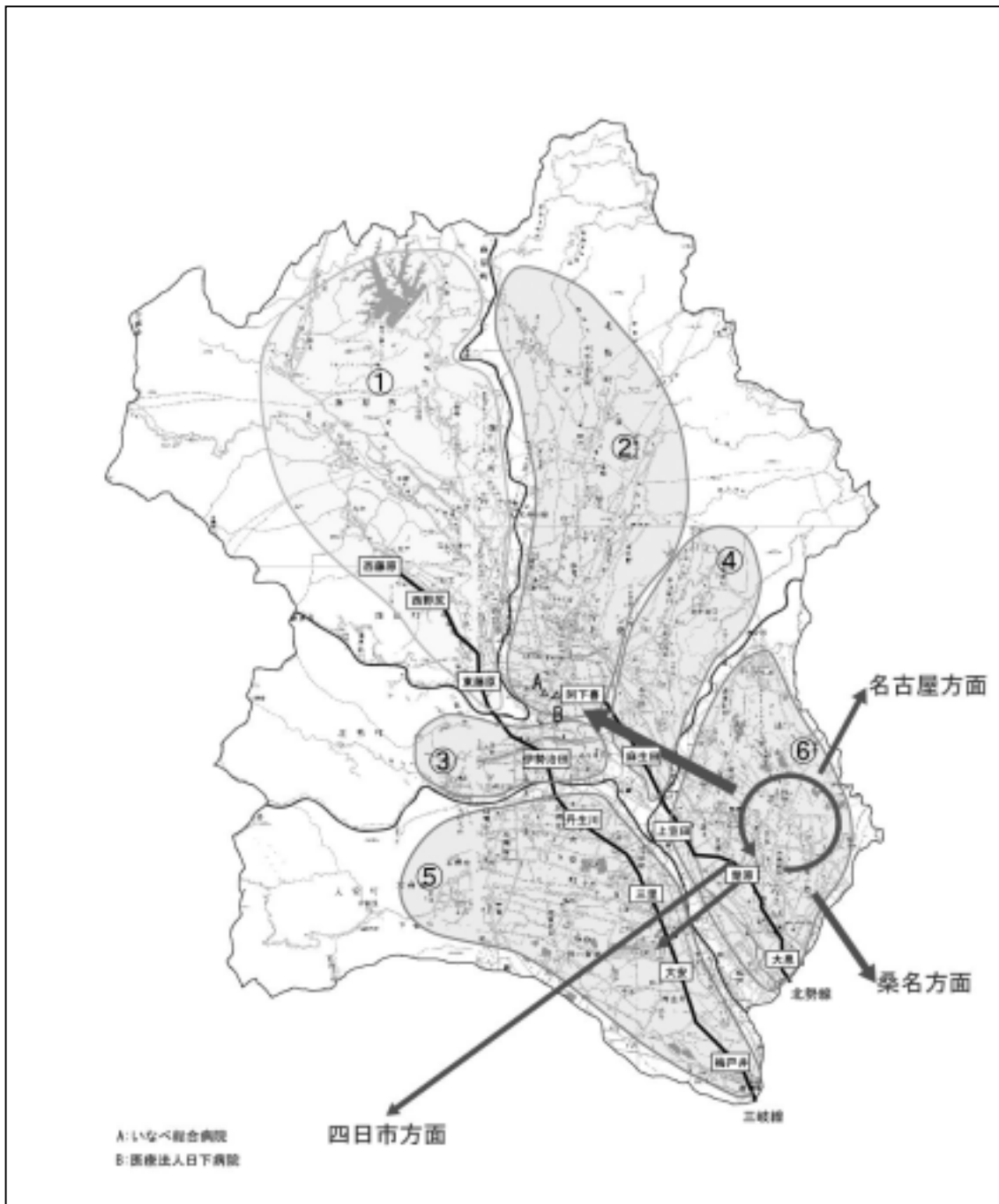
e) 大安ゾーンにおける通院の目的地利用度



	大安町内	北勢町 Ⓐ	北勢町 Ⓑ	員弁町	桑名方面	四日市方面					合計
利用人数 (人)	24	105	3	2	12	22					168
利用度数 (度)	248	572	13	12	112	62					1019
度数の割合(%)	24.3	56.1	1.3	1.2	11.0	6.1					100.0

図4 - 40 大安ゾーンにおける通院の目的地利用度

f) 員弁ゾーンにおける通院の目的地利用度

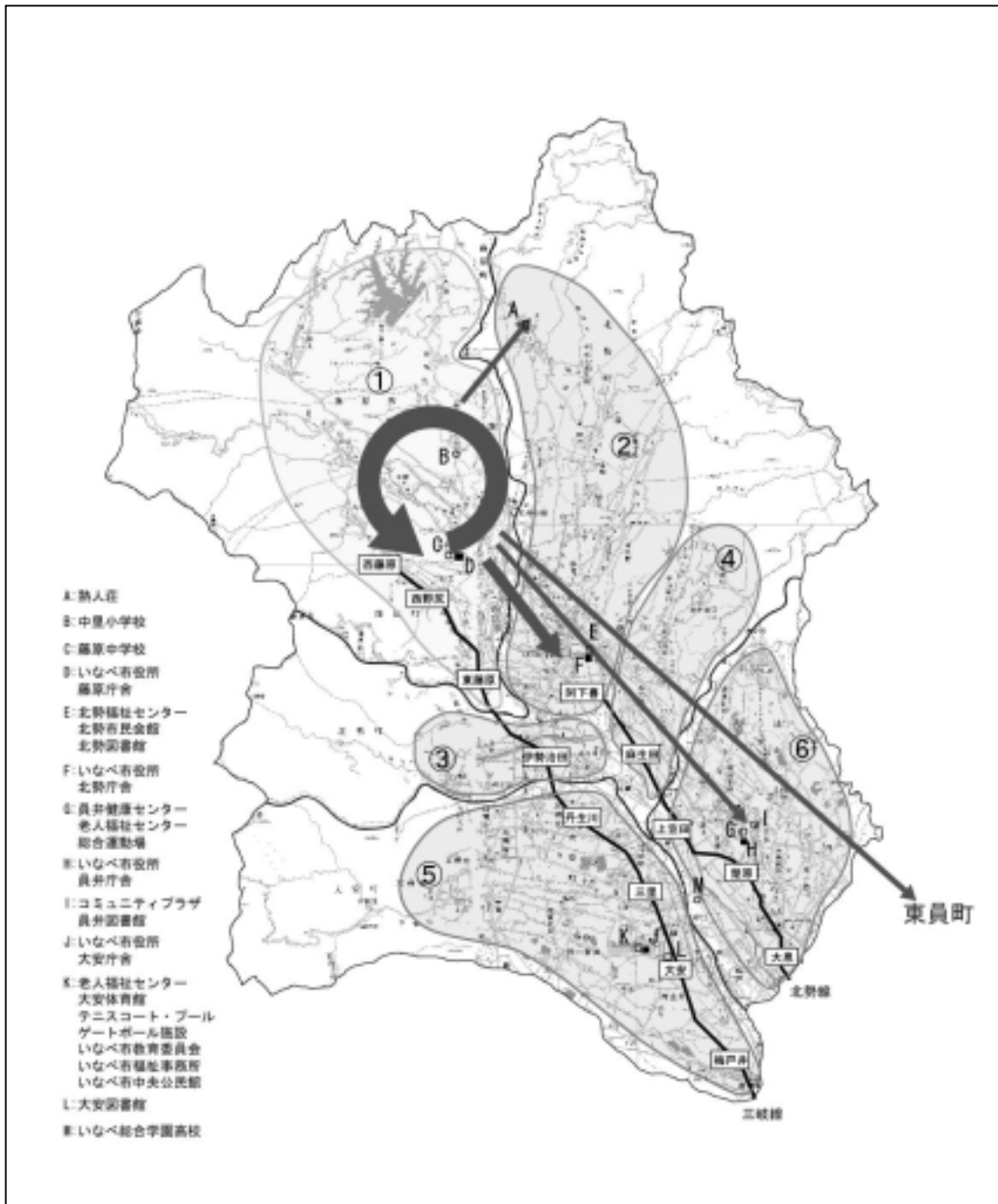


	員弁 町内	北勢町 Ⓐ	大安町	桑名 方面	名古屋 方面	四日市 方面					合計
利用人数 (人)	25	60	3	26	4	6					124
利用度数 (度)	123	325	13	202	24	16					703
度数の割合(%)	17.5	46.2	1.9	28.7	3.4	2.3					100.0

図4 - 4 1 員弁ゾーンにおける通院の目的地利用度

4) 【公共施設】

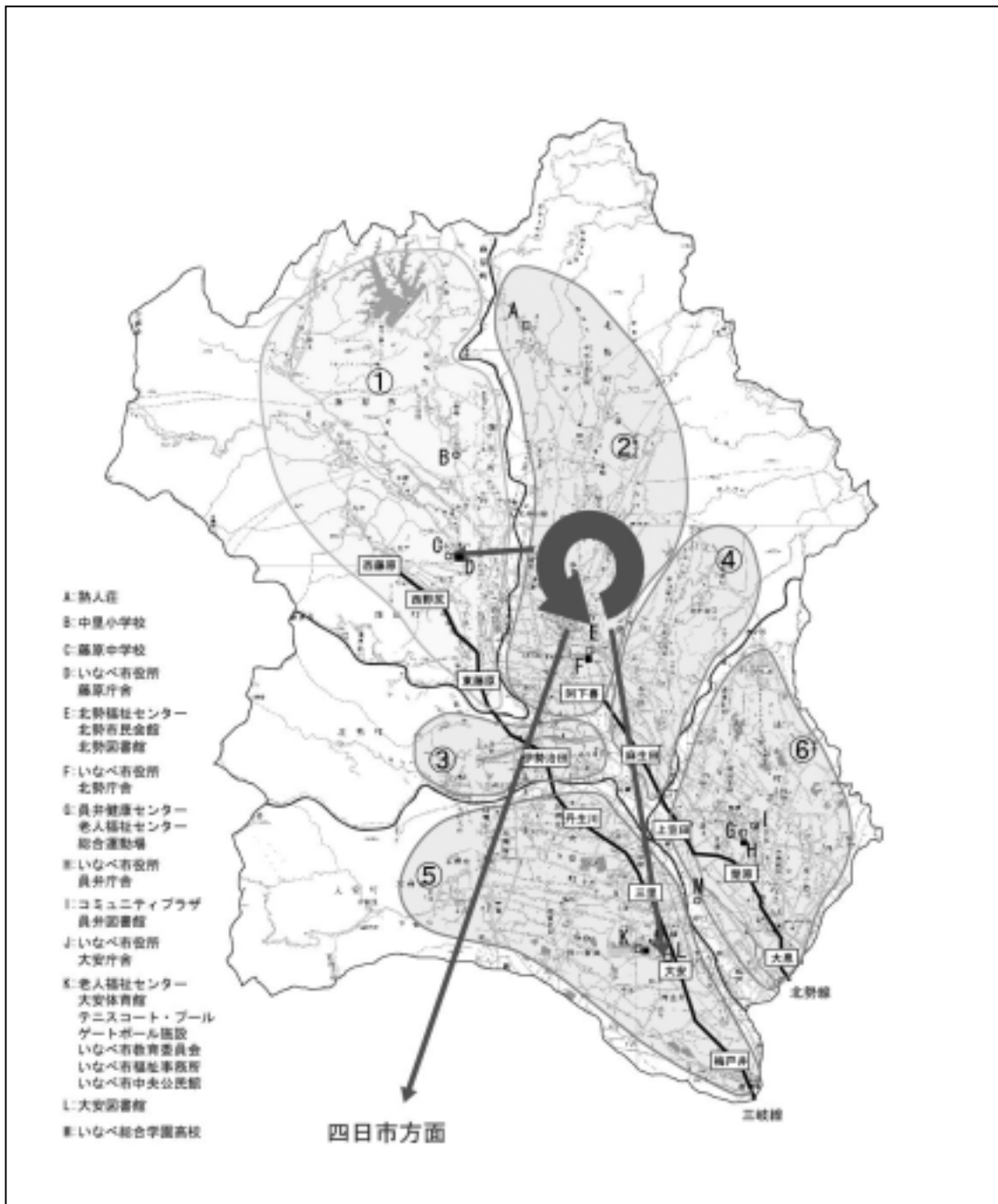
a) 藤原ゾーンにおける公共施設利用の目的地利用度



	藤原町内	熟人荘	阿下喜駅周辺	員弁町	東員町						合計
利用人数 (人)	98	2	6	2	2						110
利用度数 (度)	1,013	51	146	12	7						1,229
度数の割合(%)	82.4	4.1	11.9	1.0	0.6						100.0

図4 - 4 2 藤原ゾーンにおける公共施設利用の目的地利用度

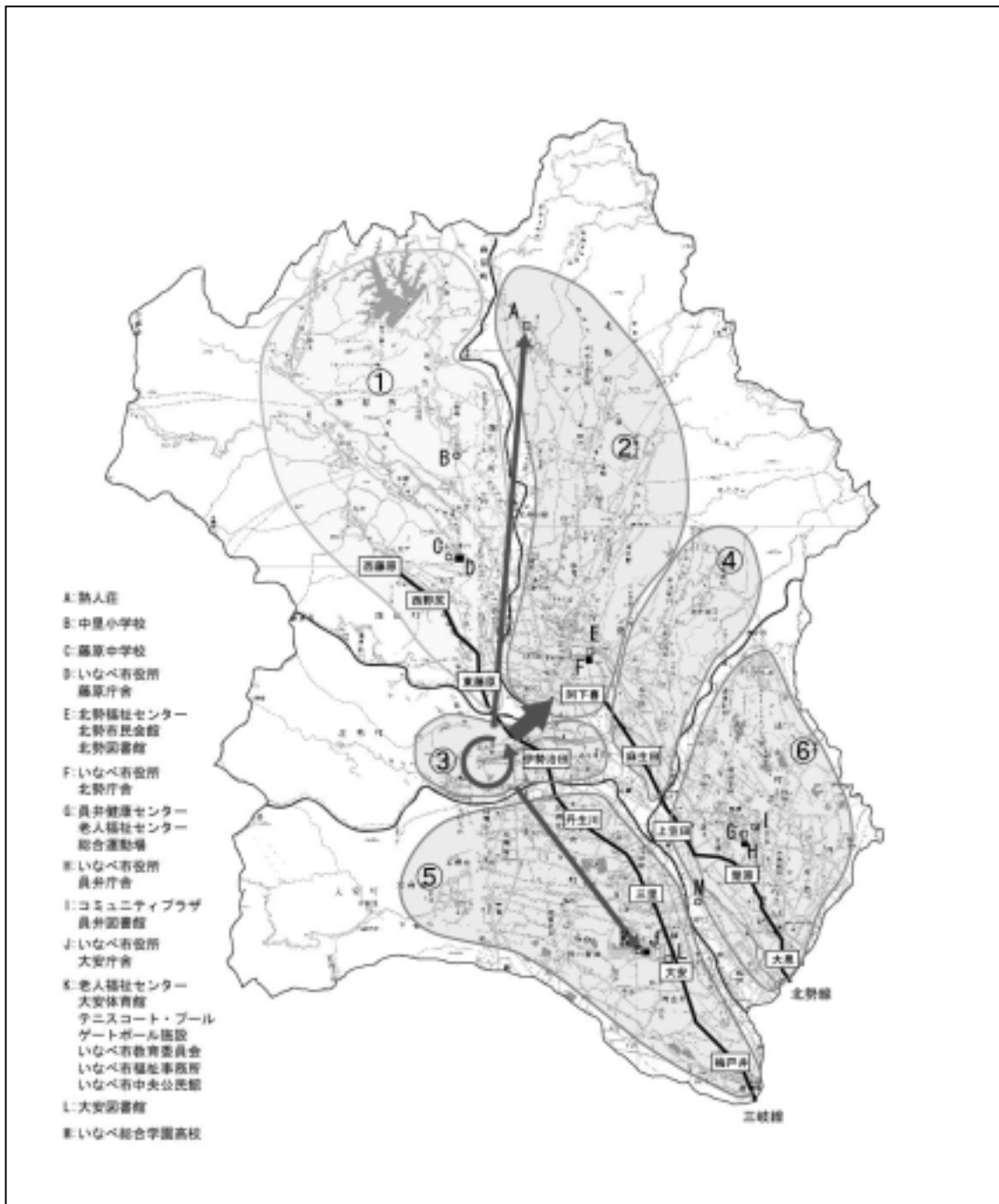
b) 北勢Aゾーンにおける公共施設利用の目的地利用度



	北勢町 A	藤原町	大安町	四日市 方面							合計
利用人数 (人)	97	1	2	1							101
利用度数 (度)	1,328	93	12	6							1,439
度数の割合(%)	92.3	6.5	0.8	0.4							100.0

図4 - 43 北勢Aゾーンにおける公共施設利用の目的地利用度

c) 北勢Bゾーンにおける公共施設利用の目的地利用度



	北勢町 (B)	熟人荘	大安町							合計
利用人数 (人)	50	2	2							54
利用度数 (度)	422	12	28							462
度数の割合(%)	91.3	2.6	6.1							100.0

図4-44 北勢Bゾーンにおける公共施設利用の目的地利用度

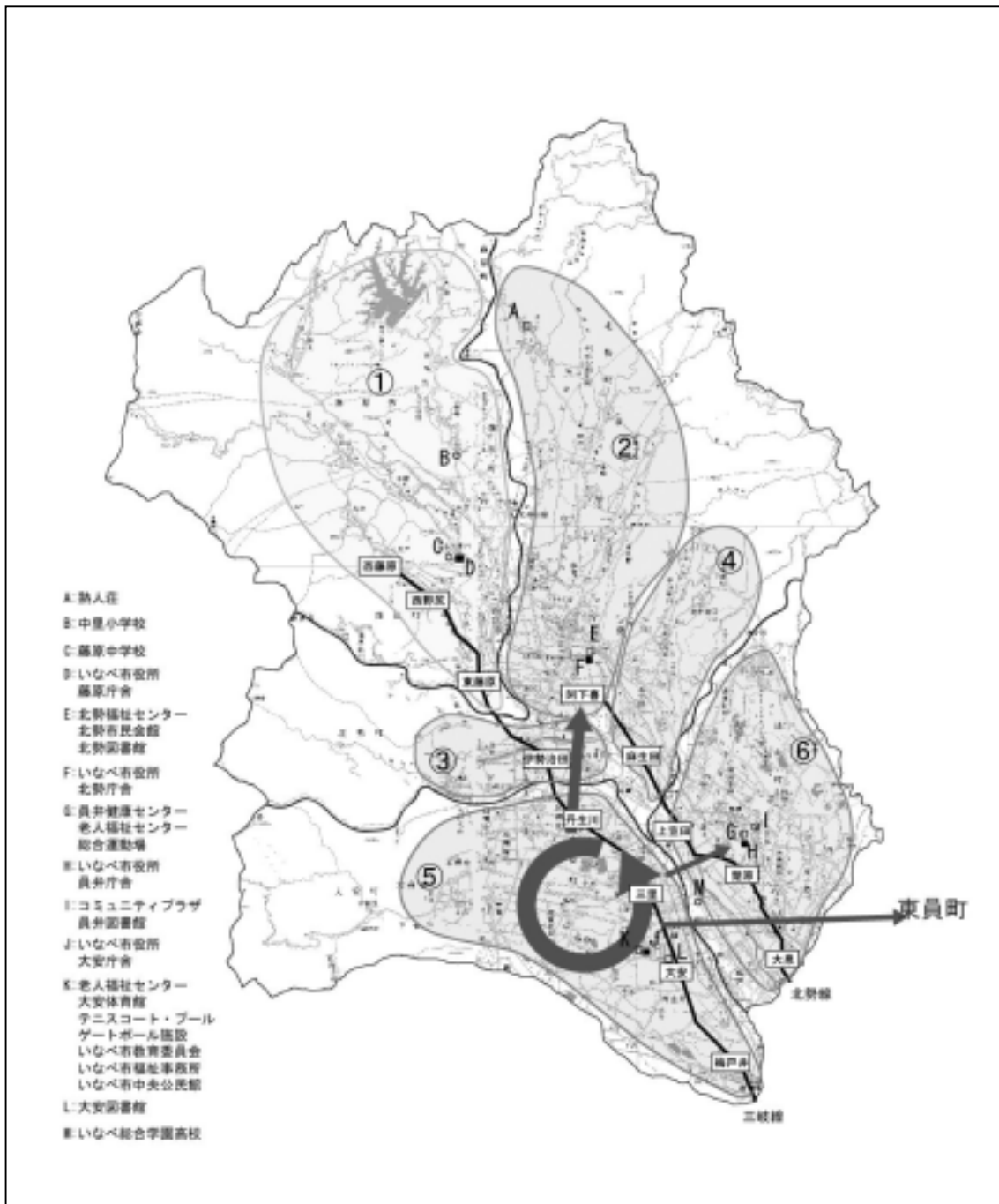
d) 北勢 C ゾーンにおける公共施設利用の目的地利用度



	熟人荘	阿下喜 駅周辺	員弁町	大安町	東員町	桑名 方面					合計
利用人数 (人)	2	70	4	4	1	2					83
利用度数 (度)	12	871	30	84	6	7					1,010
度数の割合(%)	1.2	86.2	3.0	8.3	0.6	0.7					100.0

図 4 - 4 5 北勢 C ゾーンにおける公共施設利用の目的地利用度

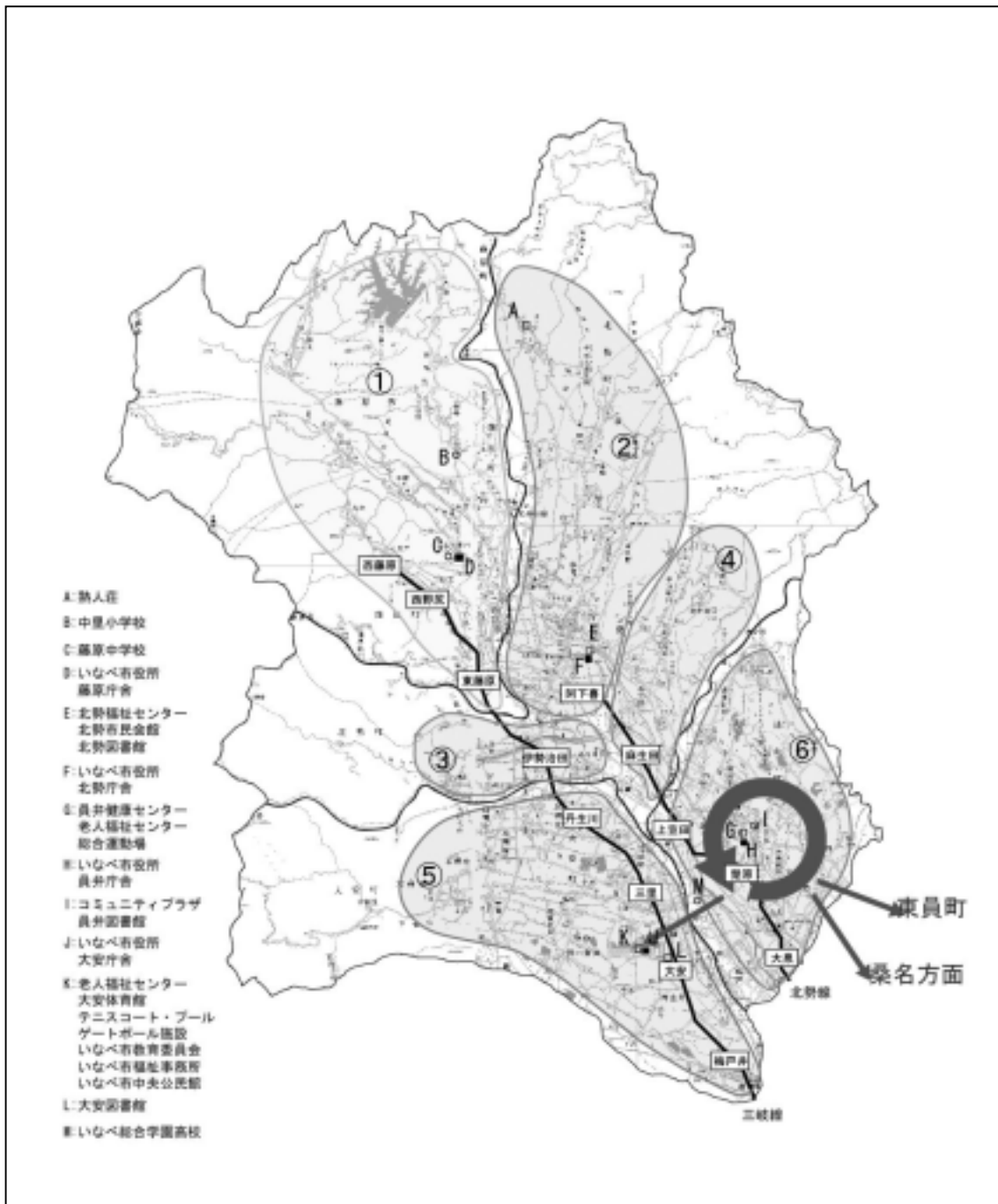
e) 大安ゾーンにおける公共施設利用の目的地利用度



	大安町内	阿下喜駅周辺	員弁町	東員町							合計
利用人数 (人)	189	3	1	6							199
利用度数 (度)	1,678	122	93	26							1,919
度数の割合(%)	87.4	6.4	4.8	1.4							100.0

図4 - 4 6 大安ゾーンにおける公共施設利用の目的地利用度

f) 員弁ゾーンにおける公共施設利用の目的地利用度

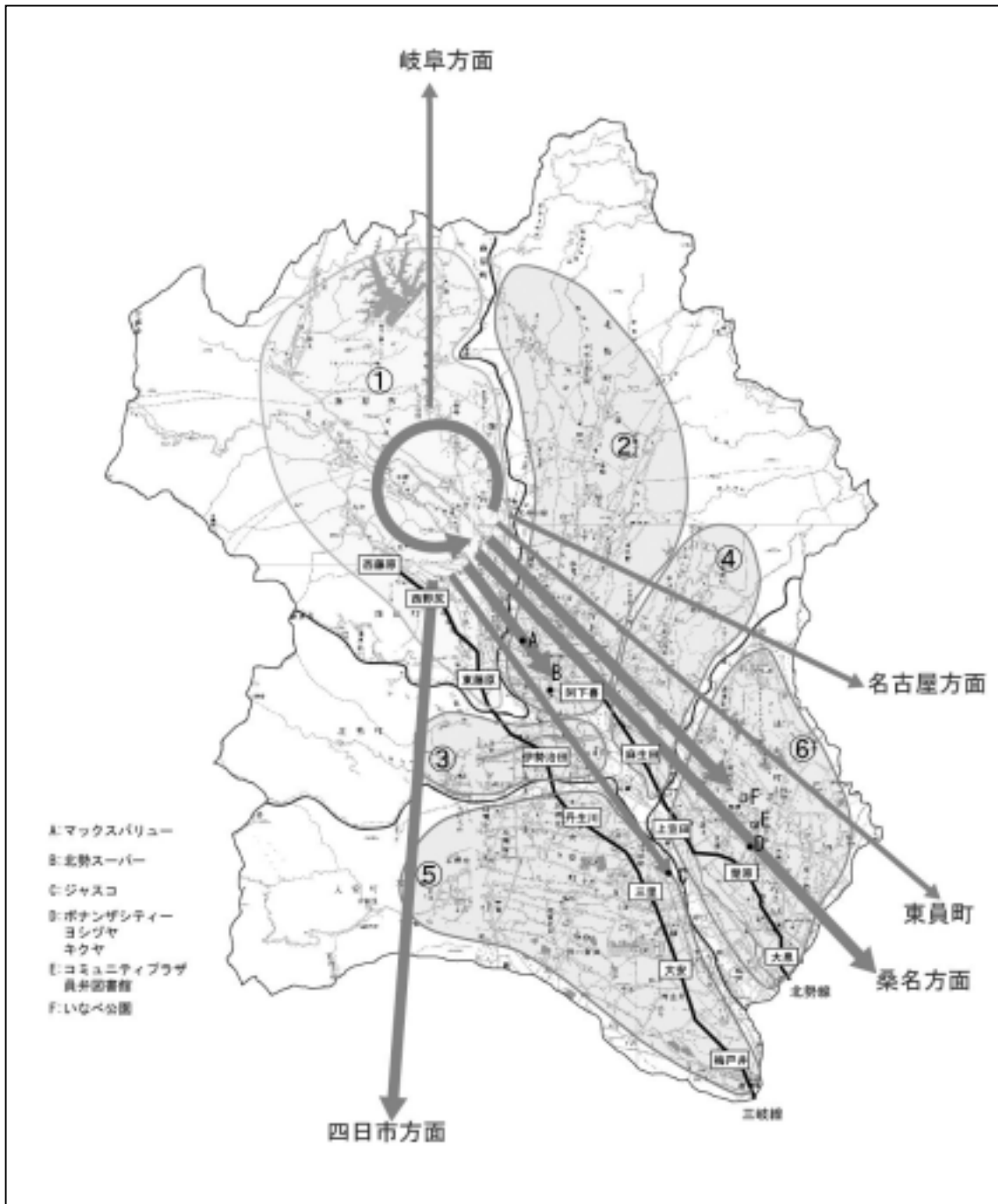


	員弁町内	大安町	東員町	桑名方面							合計
利用人数 (人)	133	1	16	1							151
利用度数 (度)	1,251	22	79	22							1,374
度数の割合(%)	91.1	1.6	5.7	1.6							100.0

図4 - 4 7 員弁ゾーンにおける公共施設利用の目的地利用度

5) 【娯楽】

a) 藤原ゾーンにおける娯楽の目的地利用度



	藤原町内	阿下喜駅周辺	員弁町	ジャスコ	東員町	桑名方面	名古屋方面	四日市方面	岐阜方面			合計
利用人数 (人)	1	10	5	3	4	23	5	14	5			70
利用度数 (度)	6	175	90	112	56	201	15	145	46			846
度数の割合(%)	0.7	20.7	10.7	13.2	6.6	23.8	1.8	17.1	5.4			100.0

図4 - 4 8 藤原ゾーンにおける娯楽の目的地利用度

b) 北勢Aゾーンにおける娯楽の目的地利用度



	北勢町内	員弁町	ジャスコ	東員町	桑名方面	名古屋方面	四日市方面					合計
利用人数 (人)	12	1	4	2	24	12	9					64
利用度数 (度)	179	50	72	23	361	125	81					891
度数の割合(%)	20.1	5.6	8.1	2.6	40.5	14.0	9.1					100.0

図4 - 49 北勢Aゾーンにおける娯楽の目的地利用度

c) 北勢Bゾーンにおける娯楽の目的地利用度



	北勢町 ①	北勢町 ②	員弁町	ジャスコ	東員町	桑名 方面	名古屋 方面	四日市 方面				合計
利用人数 (人)	2	1	1	1	1	15	4	5				30
利用度数 (度)	28	22	6	22	50	172	24	30				354
度数の割合(%)	7.9	6.2	1.7	6.2	14.1	48.6	6.8	8.5				100.0

図4 - 50 北勢Bゾーンにおける娯楽の目的地利用度

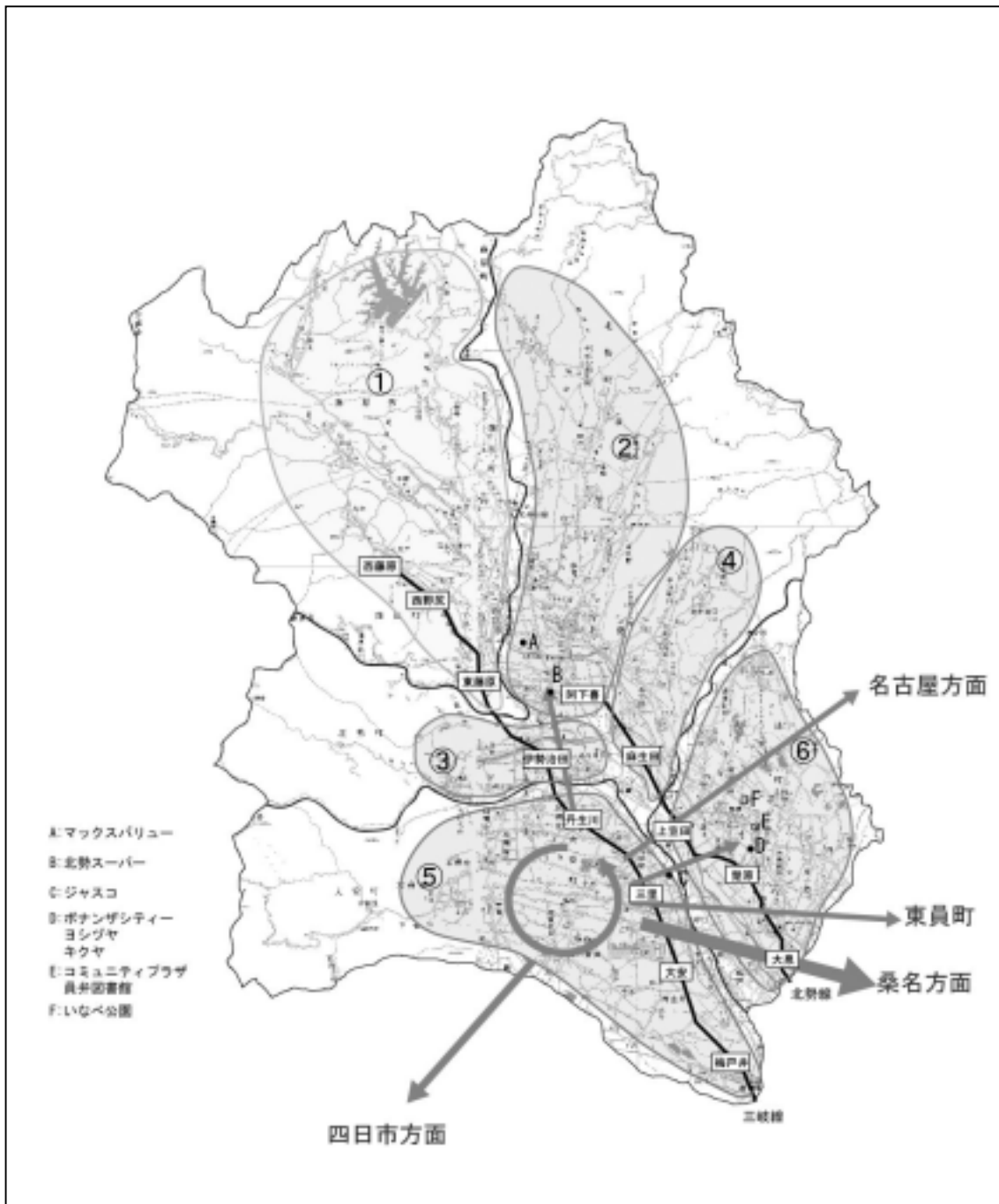
d) 北勢Cゾーンにおける娯楽の目的地利用度



	北勢町 ①	員弁町	東員町	桑名 方面	名古屋 方面	四日市 方面						合計
利用人数 (人)	5	3	4	28	5	6						51
利用度数 (度)	74	34	4	80	10	27						229
度数の割合(%)	32.3	14.9	1.7	34.9	4.4	11.8						100.0

図4 - 5 1 北勢Cゾーンにおける娯楽の目的地利用度

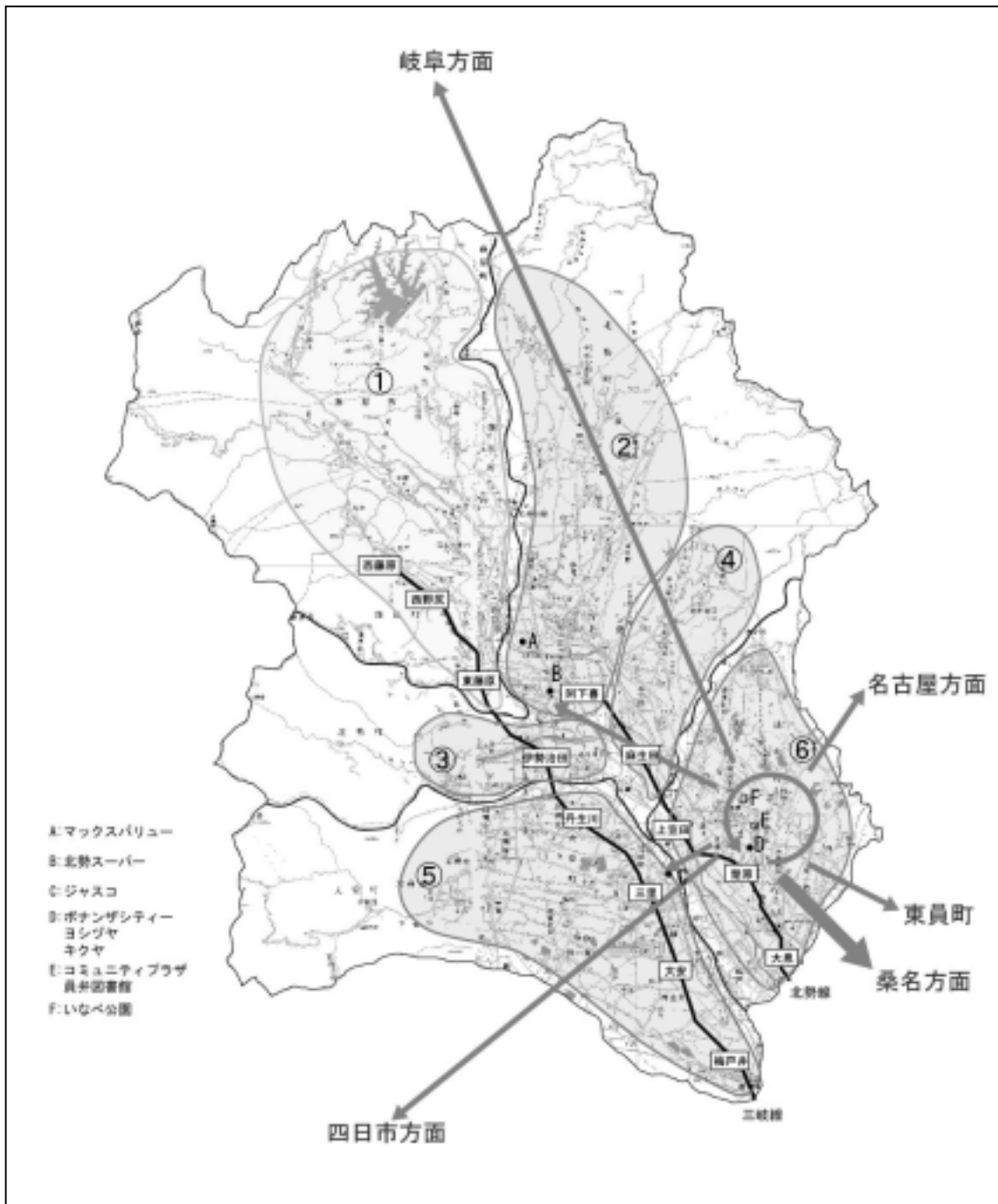
e) 大安ゾーンにおける娯楽の目的土地利用度



	大安町内	阿下喜駅周辺	員弁町	東員町	桑名方面	名古屋方面	四日市方面					合計
利用人数 (人)	12	4	1	4	46	15	38					120
利用度数 (度)	253	88	22	51	690	100	263					1,467
度数の割合(%)	17.8	6.0	1.5	3.5	47.0	6.8	17.9					100.0

図4 - 5 2 大安ゾーンにおける娯楽の目的土地利用度

f) 員弁ゾーンにおける娯楽の目的地利用度



	員弁町内	阿下喜駅周辺	ジャスコ	東員町	桑名方面	四日市方面	名古屋方面	岐阜方面				合計
利用人数 (人)	5	1	4	4	59	14	12	1				100
利用度数 (度)	73	6	51	72	536	91	83	22				934
度数の割合(%)	7.8	0.6	5.5	7.7	57.4	9.7	8.9	2.4				100.0

図4 - 5 3 員弁ゾーンにおける娯楽の目的地利用度

(3) 目的別ゾーン別目的地利用度分析結果から得られる傾向

目的別ゾーン別目的地利用度をまとめた結果から下記の傾向を見ることが出来る。

1) 【通勤通学】

対象ゾーン自体が目的地である割合が、どのゾーンを見ても高い傾向にある。北勢線・三岐線の沿線（桑名や四日市）方面への利用度が対象ゾーンによってばらつきはあるものの比較的高い割合にある。

2) 【買物】

藤原、北勢ゾーンでは阿下喜周辺、大安ゾーンではジャスコ、員弁ゾーンではポナンザシティへの利用割合が高い。全市的にジャスコへの利用割合が高い。

3) 【通院】

いなべ市内への通院は、対象ゾーン内の身近な病院か、あるいは阿下喜周辺の病院が目的地となっている。桑名方面や四日市方面への通院利用割合も低くはない。

4) 【公共施設】

3つのゾーンに分割した北勢町でゾーン間の移動はあるものの、基本的に対象ゾーン内が目的地となっている。

5) 【娯楽】

娯楽に関する利用目的地区は、他の目的と比べると圧倒的に市外へ向かう割合が高い。

4 - 3 - 3 時間帯別目的別行動開始度

(1) 時間帯別目的別行動開始度グラフの見方

目的別の行動開始時間帯の利用度数割合（先の目的別ゾーン別目的地利用度と同じ）を単純棒グラフで示している。利用度数割合は利用者に利用頻度による係数（表 4 - 3 ）を乗じて算出しその総合計に対する時間帯別合計の割を利用度数割合(%)となる。

グラフ右に示した Nf= はその時間帯の利用度数(Nf は Number of Frequently Case の略)を示している。

表 4 - 3 利用頻度と度数の設定《再掲》

利用頻度	度数
1 . 毎日利用	100
2 . 週 5 ~ 6 回	93
3 . 週 3 ~ 4 回	50
4 . 週 1 ~ 2 回	22
5 . 月 1 ~ 2 回	6
6 . 年 1 ~ 2 回	1

(2) 時間帯別目的別行動開始度分析結果

1) 全回答者を対象とした分析結果

【通勤通学】

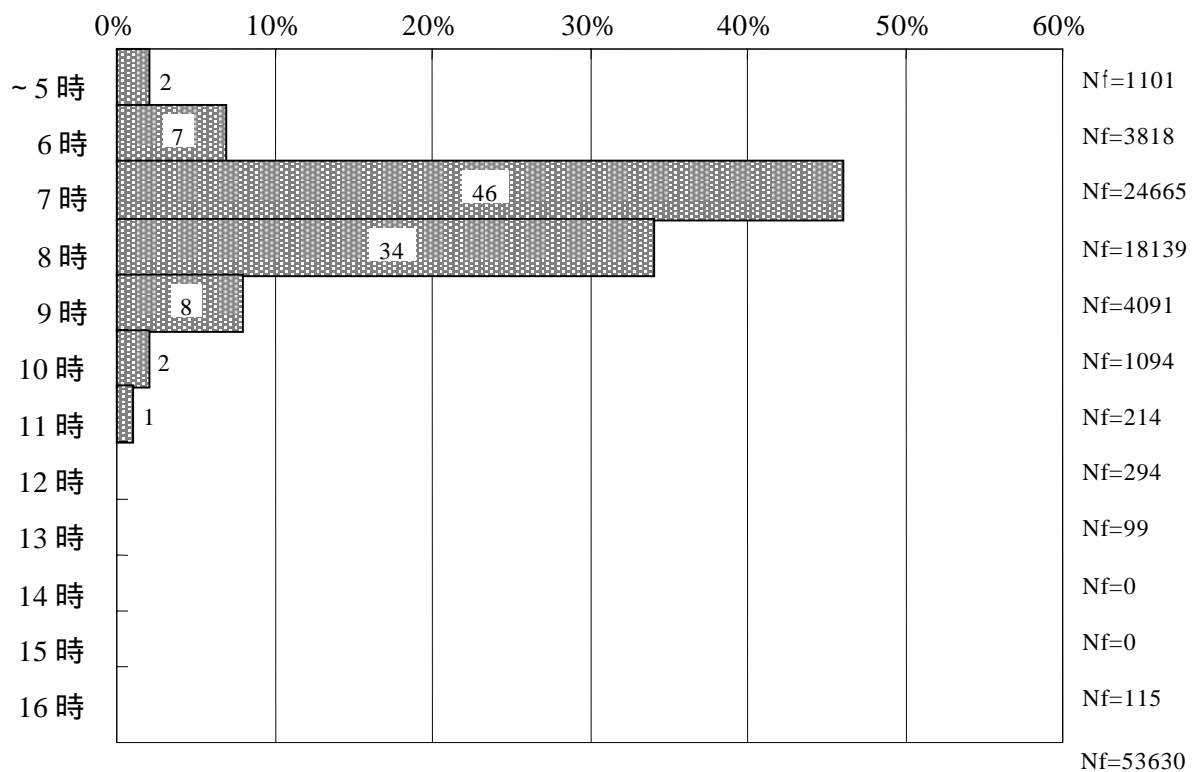


図 4 - 5 4 通勤通学を目的とした行動開始時間帯（全回答者）

【買物】

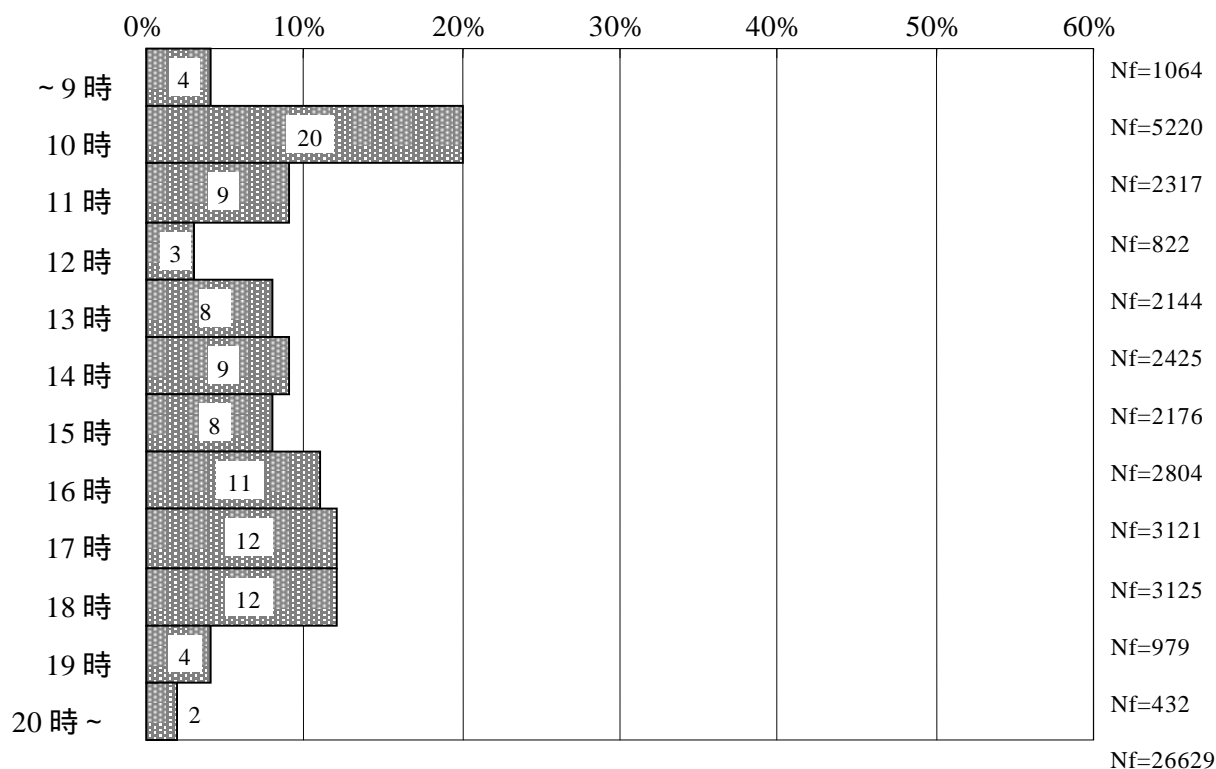


図 4 - 5 5 買物を目的とした行動開始時間帯 (全回答者)

【通院】

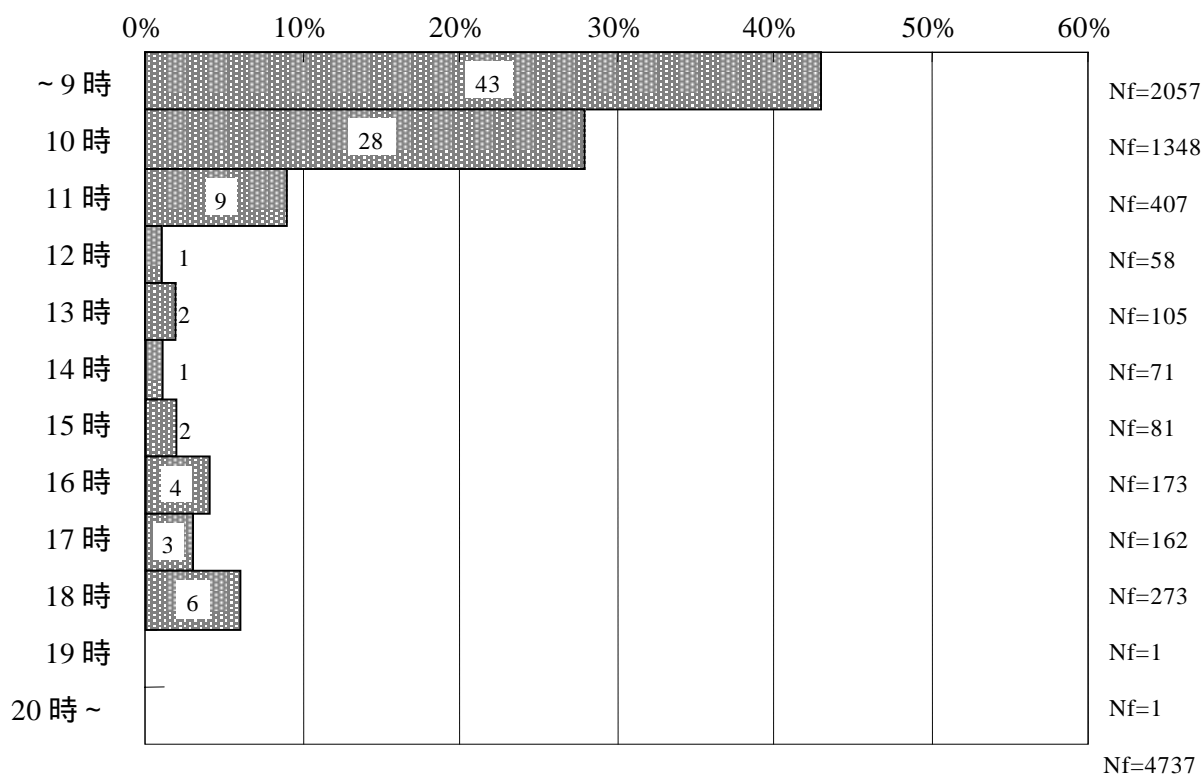


図 4 - 5 6 通院を目的とした行動開始時間帯 (全回答者)

【公共施設】

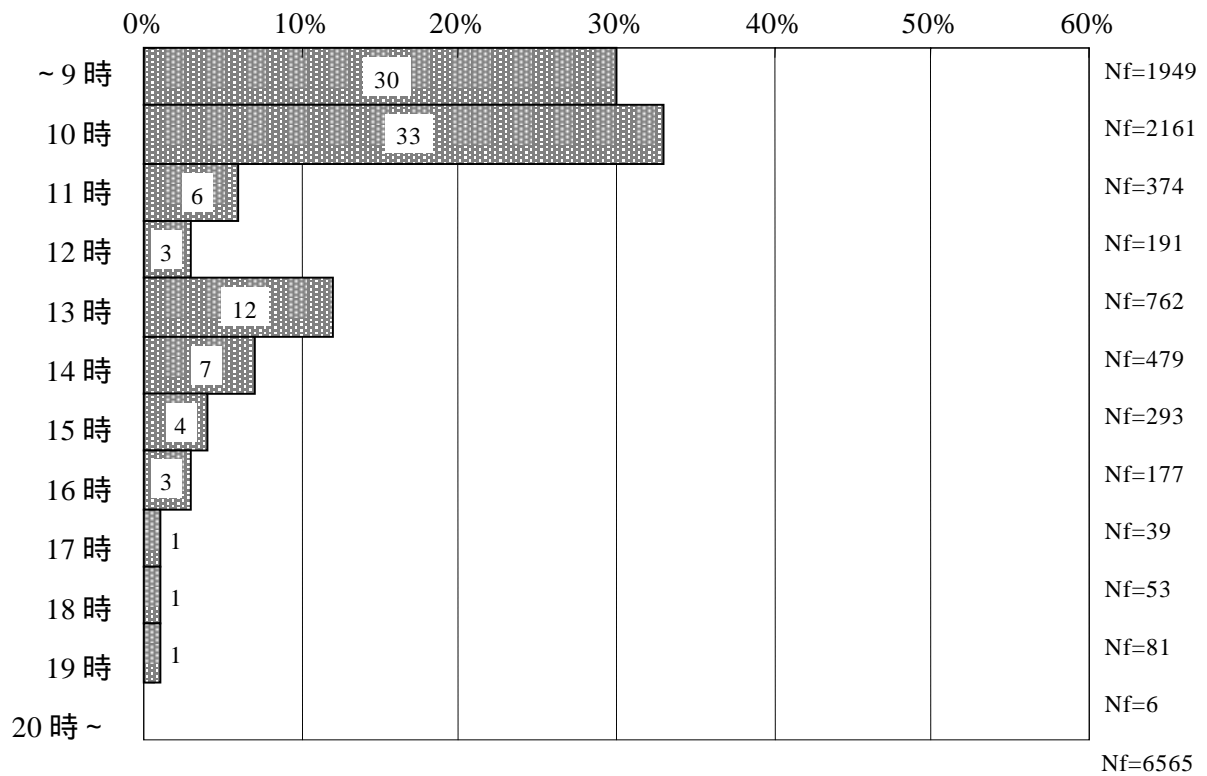


図 4 - 5 7 公共施設を目的とした行動開始時間帯 (全回答者)

【娯楽】

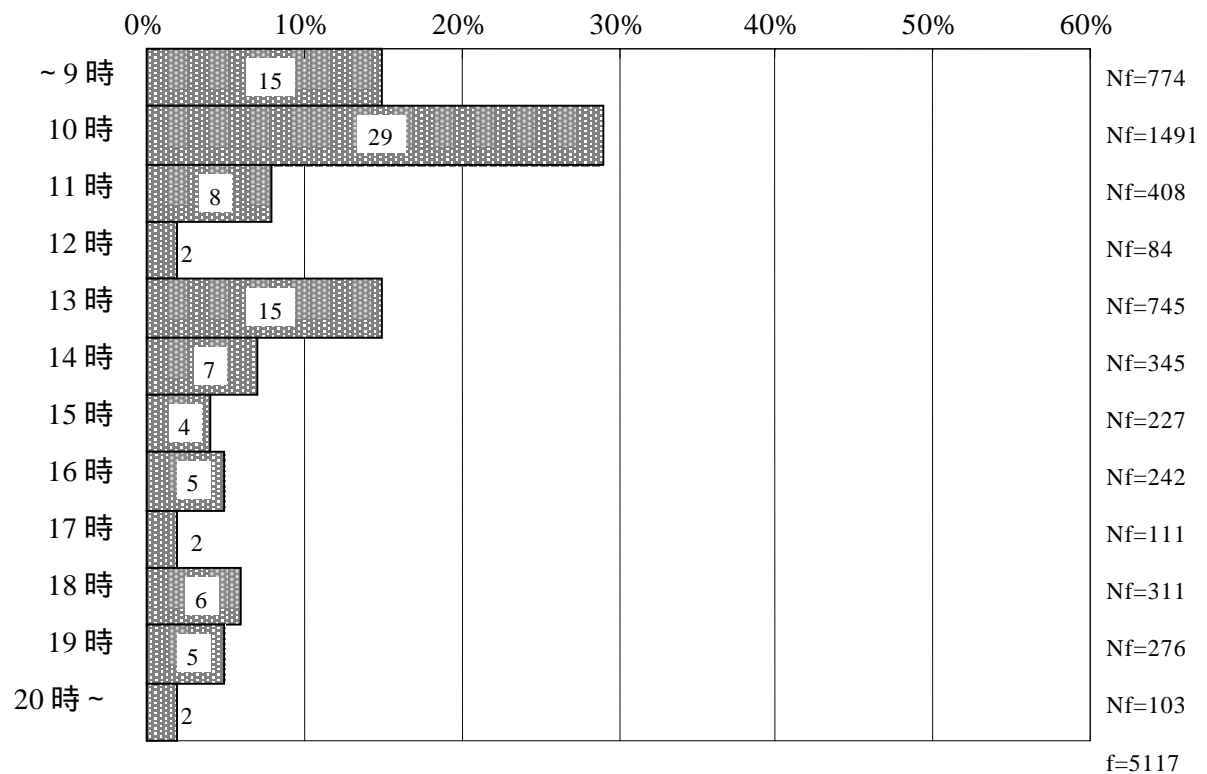


図 4 - 5 8 娯楽を目的とした行動開始時間帯 (全回答者)

2) 60歳以上の高齢者を対象とした分析結果

【買物】

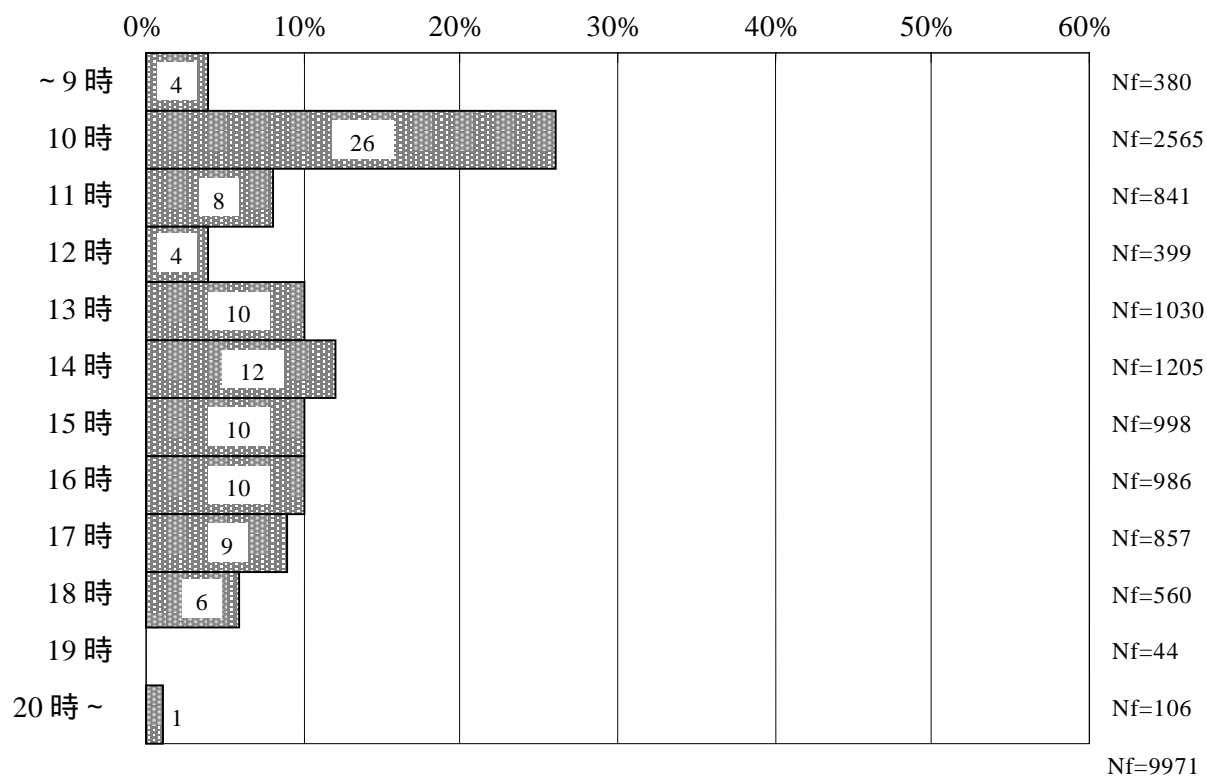


図4 - 59 買物を目的とした行動開始時間帯（高齢者）

【通院】

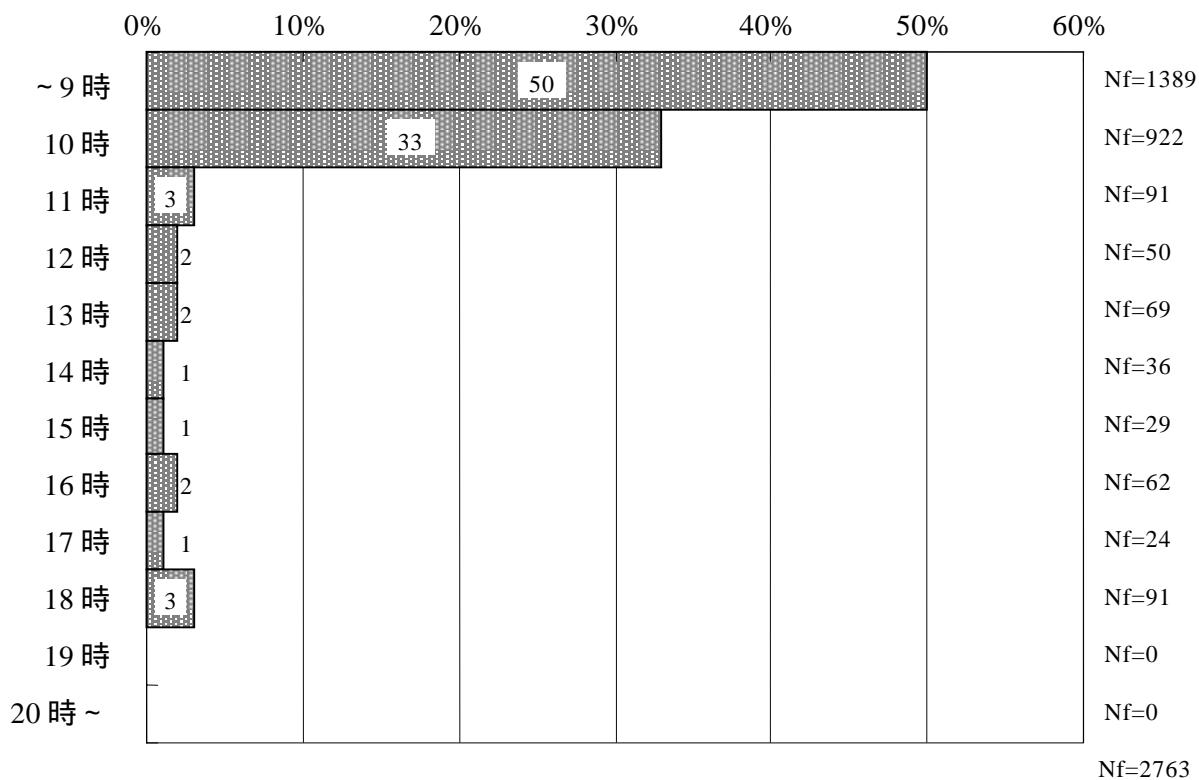


図4 - 60 通院を目的とした行動開始時間帯（高齢者）

3) 主婦及び無職の方を対象とした分析結果

【買物】

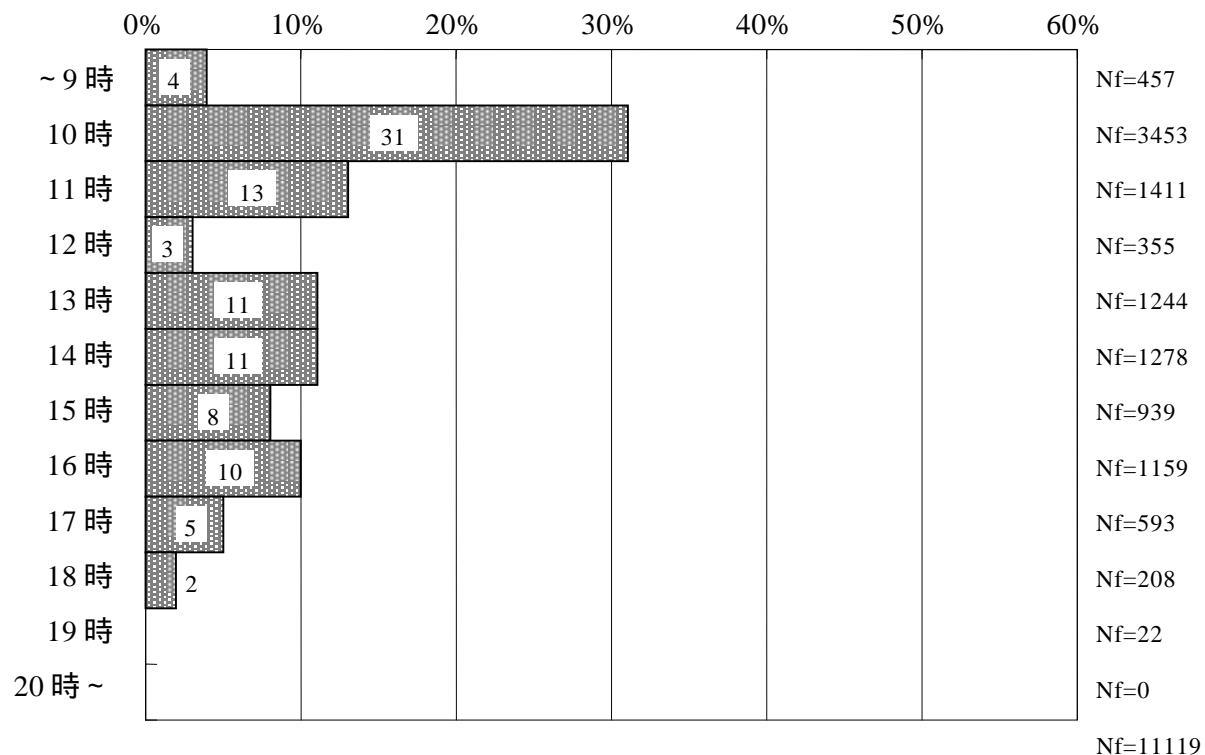


図4 - 6 1 買物を目的とした行動開始時間帯 (主婦)

【通院】

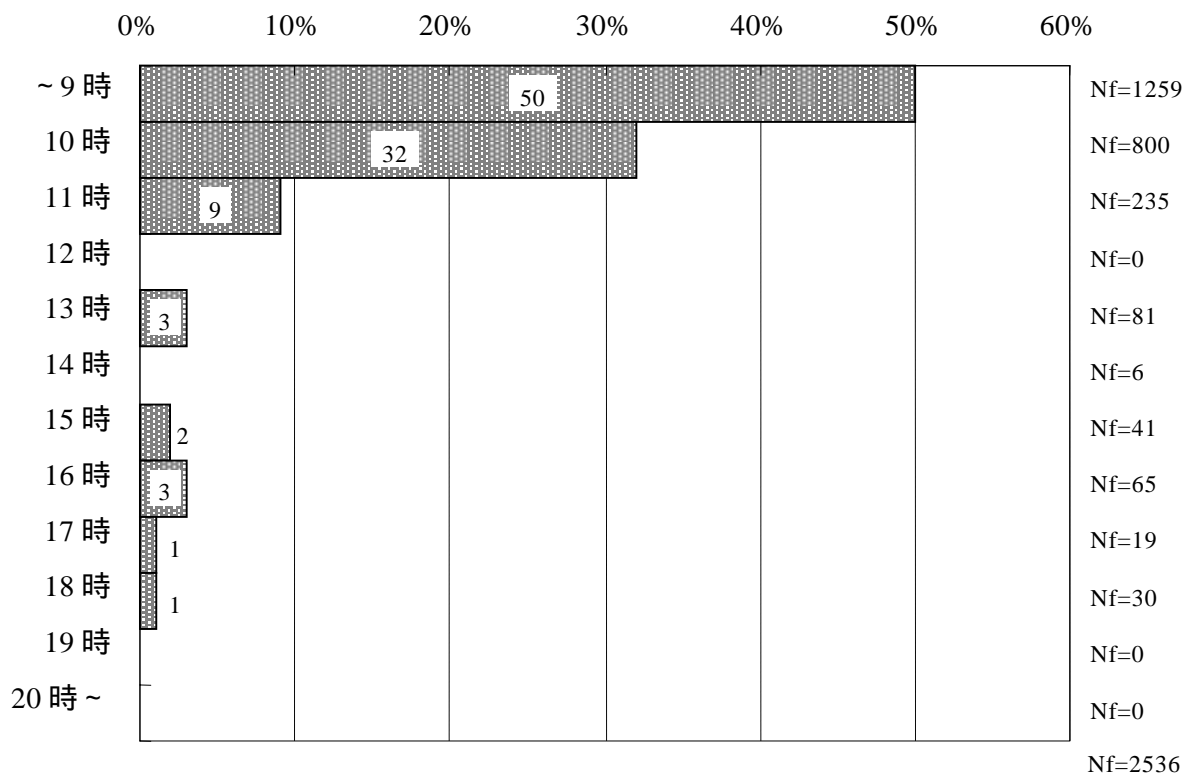


図4 - 6 2 通院を目的とした行動開始時間帯 (主婦)

(3) 時間帯別目的別行動開始度分析結果から得られる傾向

全回答者を対象とした分析結果からは、通勤通学のピークとなる朝 7 時～9 時を過ぎた後の 9 時以降すぐに通院や公共施設、あるいは娯楽を目的に行動を開始する傾向が見える。買物を目的とした行動は他と比べると午前中に特化した傾向は無い。

高齢者あるいは主婦・無職の方に絞り込んだグラフでは先の全回答者を対象とした場合の傾向を更に強めてくることがわかる。買物に関しても午前中に行動する割合が高くなっている。

4 - 3 - 4 自由意見欄の意見別集計

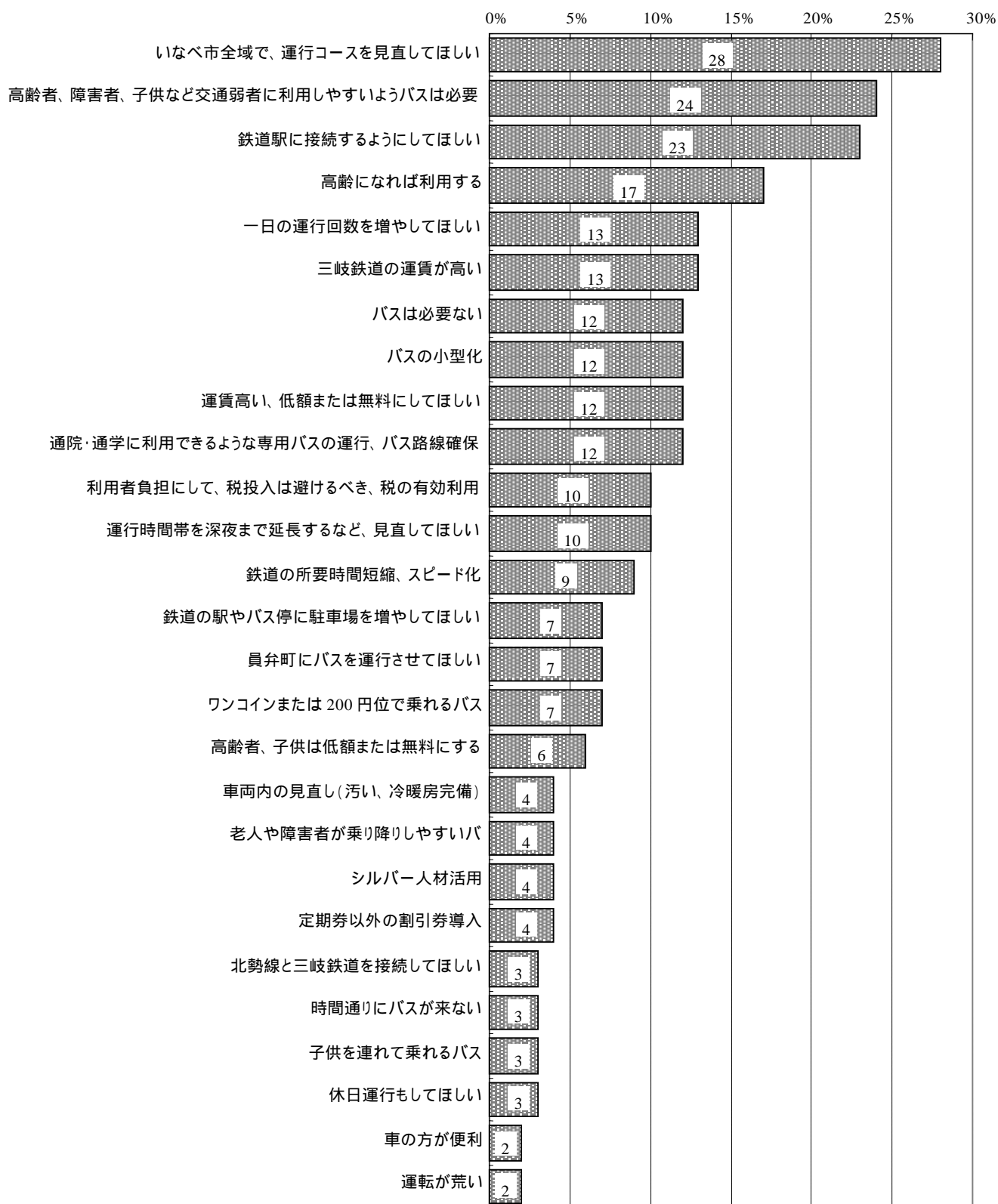


図4 - 63 自由意見の集計

5 . いなべ市新バス交通基本構想の提案